TOTO

施工説明書

メーカー
管理用です。

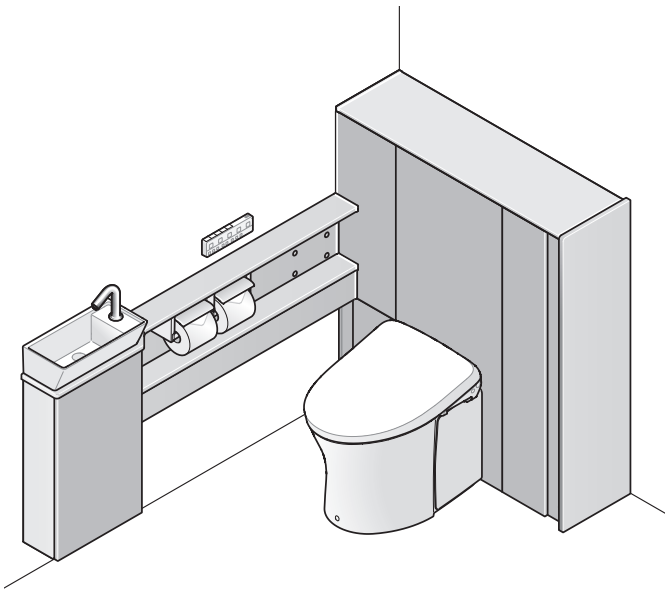
住宅用システムトイレ　レストパル

L型　壁排水
まるごと収納タイプ（UWTA）

◆“ウォシュレット”はTOTOの登録商標です。

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
取付後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。
本書は左勝手を基準に説明しております。本書に記載の寸法の単位はmmです。

本書とあわせて、各部材に付属の説明書やちらしをご確認のうえ、正しく取り付けてください。



商品タイプの確認　2

情報編　3

1. 安全上のご注意　4
2. 取付前のご注意　6
3. 部品の確認　13
4. 施工ダイジェスト　22

手順編　23

動画を見る

施工の流れ

当社のウェブサイトから、施工動画がご確認いただけます。

※通信料がかかります。
※ご利用環境によって閲覧できない場合があります。

工事店様へ

□取扱説明書の最終ページの保証書に、必要事項を記入のうえ、必ずお客様にお渡ししてください。
お渡しできない場合は、目立つ場所に置いてください。
□取付後、ウォシュレットの機能、使いかたなどについてお客様にご説明をお願いいたします。
□新築などでお客様に引渡すまでに時間があるときは、電源プラグを抜いておいてください。

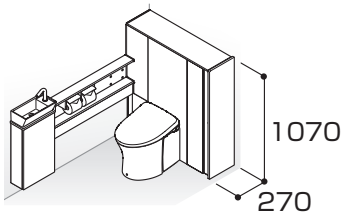
商品タイプの確認

商品タイプにより施工手順が異なります。

お施主様のお宅は、どのタイプですか？

キャビネットタイプ

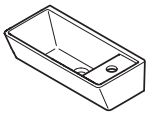
まるごと収納タイプ



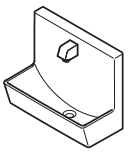
手洗器

ベッセルタイプ（丸形）

ベッセルタイプ（角形）



ハイバックタイプ ※図は自動水栓の場合



水栓金具

自動水栓

ベッセルタイプ（丸形）

ベッセルタイプ（角形）

ハイバックタイプ

ハンドル式水栓

ベッセルタイプ（丸形）

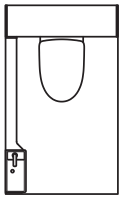
ベッセルタイプ（角形）

ハイバックタイプ

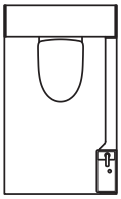
手洗器位置

※図はベッセルタイプ（角形）の場合

左勝手



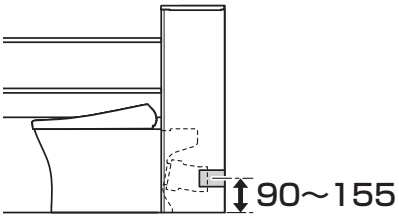
右勝手



給排水タイプ

後ろ抜き

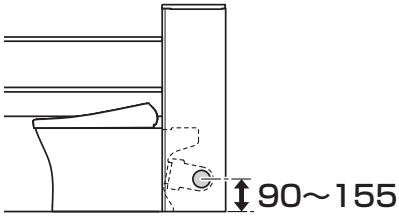
給水新設



既存給水流用（リモデル用）

左右抜き

給水新設



既存給水流用（リモデル用）

情報編

1. 安全上のご注意 ▶4

2. 取付前のご注意 ▶6

1	設置寸法	6
2	キャビネット扉の開閉範囲	6
3	排水位置	7
4	給水位置	8
5	補強材位置	9
6	電気配線	11
7	幅木	11
8	窓枠	12
9	必要工具	12

3. 部品の確認 ▶13

4. 施工ダイジェスト ▶22

1.安全上のご注意

安全のために必ずお守りください。

お取付前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。
ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容となりますので、必ずお守りください。

表示と意味

警告 死亡や重傷を負う可能性がある内容です。

注意 傷害や物的損害※が発生する可能性がある内容です。

してはいけない禁止の内容です。

必ず実行していただく強制の内容です。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

警告

分解禁止	**修理技術者以外の人は分解したり、修理・改造はしない** 商品が破損し、けがや重大事故の原因となります。	ぬれ手禁止	**ぬれた手で電気部品に触れない** 感電の原因となります。
接触禁止	**雷が発生しているときは、電源プラグに触れない** 感電の原因となります。	水場使用禁止	**浴室など水がかかったり湿気の多い場所には設置しない** 火災や感電の原因となります。 商品本体・ねじ類の腐食により、落下してけがのおそれがあります。
禁止	**指定する電源（AC100V）以外では使用しない** 火災の原因となります。 **電源コード、電源プラグが破損するようなことをしない** 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。 破損とは… 傷をつける、加工する、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねる、挟み込む、加熱する など **屋外および傾斜のあるような壁面、床面、振動の激しい場所に取り付けない** 取り付けが不安定になり、倒れたり落下してけがのおそれがあります。 **給水および排水管の真下部にコンセントを設置したり、フレキホースと電源プラグ、コンセントを接触させない** 結露水などにより、コンセントに水がかかり、火災や感電の原因となります。		**電源コード、電源プラグが傷んだりコンセントの差し込みがゆるいままで使用しない** 火災や感電の原因となります。 **がたついているコンセントは使わない** 火災や感電の原因となります。 **器具取付用のねじ固定部の床・壁裏には、配管・配線を通さない** 火災や感電の原因となります。 水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。 **コンセントや配線器具の定格を超える使いかたをしない** たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。 **水道水および飲用可能な井戸水・地下水以外は使用しない** 皮膚の炎症などを起こす原因となります。
プラグを抜く	**電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグ本体を持って引き抜く** 電源コード、電源プラグの傷みによる火災や感電の原因となります。		
アース接続	**アース（D種接地）工事がされていることを確認する** アース工事がされていないと故障や漏電のとき、感電する原因となります。 アース工事は、お近くの工事店に依頼してください。		
必ず守る	**コンセント位置・電源コードの取り回しは、本説明書に記載された位置・方法・注意事項に従う** 結露水などにより、コンセントに水がかかり、火災や感電の原因となります。		**取付面がタイル・コンクリート壁の場合は、コンクリート用プラグ（現場手配）を使用する** 取り付けが不安定になり、落下してけがのおそれがあります。

⚠警告

必ず守る

壁固定ねじ取付位置には、必ず壁裏に補強材を入れる
商品が転倒・落下してけがのおそれがあります。

工事完了後、商品の傾きやがたつきがないか確認する
商品が落下したり、外れてけがのおそれがあります。

石こうボードの場合は指定のボードアンカーを使用する
取り付けが不安定になり、落下してけがのおそれがあります。

商品を取り付ける柱・間柱は腐食などで強度不足でないか確認する
商品が転倒・落下してけがのおそれがあります。

機器の設置は専門業者が行う
また、電気工事は関連する法令・法規に従って有資格者（電気工事士）が行う
火災や感電の原因となります。水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。
商品が破損・落下してけがのおそれがあります。

手洗器クッション材のはり付けおよび必要箇所へのシリコーン系シール材の塗布（コーキング）は確実に行う
水などが浸入してコンセントにかかり、火災や感電の原因となります。

⚠注意

禁止

止水栓を開けたままで給水フィルター、機能部フィルターを外さない
水が噴き出し、家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

商品に強い力や衝撃を与えない
商品が破損・落下してけがのおそれがあります。

商品に乗らない、重い物を載せない
商品が破損・落下してけがのおそれがあります。

フレキホースが破損するようなことをしない
フレキホースが破損し、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。
破損とは…
傷をつける、加工する、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねる、挟み込む、加熱する など

必ず守る

給水フィルター、機能部フィルター、給水フィルター付水抜栓を取り付けるときは接続部やフィルターふたを確実に締める
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。
※止水栓は必ず商品同梱の専用止水栓を取り付けてください。

工事完了後、給排水管から水漏れがないか確認する
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

作業時は手袋、防じんマスクなど適切な安全防具を使用する
けがのおそれがあります。

商品の取り付け・加工は、本説明書に記載された方法・注意事項に従う
商品が破損・落下してけがのおそれがあります。

商品の壁への固定が完了するまで、もたれたり、物を載せたりしない
倒れや落下によりけがのおそれがあります。

推奨位置以外に設置する場合は、安全性を十分に確認する
取り付けが不安定になり、使用中に落下してけがのおそれがあります。

凍結による破損の予防を行う
凍結すると商品の一部が破損し、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

設置工事に使用する部品は必ず付属部品および指定部品を使用する
取り付けが不安定になり、使用中に落下してけがのおそれがあります。

給水・排水接続は、本説明書に記載された方法・注意事項に従う
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

コンセントは水や小水がかからない位置に設置する
コンセントに水がかかり、感電・発火の原因となります。

給水ホースと分岐金具を正しく接続する
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

ねじ部の固定は、本説明書に記載された方法・注意事項に従う
商品が破損・落下してけがのおそれがあります。

水平器を用いて水平に設置する
物が落下してけがのおそれがあります。

商品周囲のすき間処理は、本説明書に記載された方法・注意事項に従う
水が浸入して家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

便器の水たまり部を見て、封水が切れていないか確認する
封水が切れている場合に下水ガスや塩素ガス、硫化水素などによって設備・機器が腐食し、物的損害・傷害の生じる原因となります。

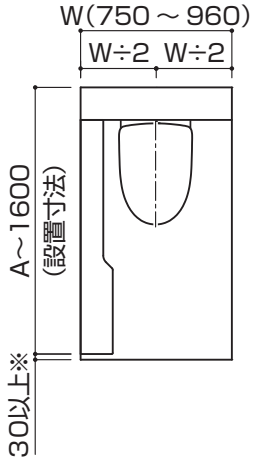
2. 取付前のご注意

・施工や運搬、清掃時に触れる可能性のある金属類は、陶器と接触しないようにしてください。金属類が陶器表面をこすり、スジ状の跡が付くおそれがあります。
・便器を防火区画貫通部より 1m以内に設置の場合は、事前に所轄消防署にご確認のうえ、その指示に従ってください。
・キャビネットの表面に指定のクッション材・ラベル以外ははらないでください。
・ボードアンカーは、引抜強度 200N 以上のものを使用してください。

参照 ウォシュレットへの通電：ウォシュレットの施工説明書

1 設置寸法

・トイレの広さは以下の寸法を確保してください。
範囲外の間口には対応できません。
・図は左勝手の場合です。右勝手の場合は左右反転となります。
・トイレ奥行寸法にあわせてカウンターを任意の長さにカットできます。

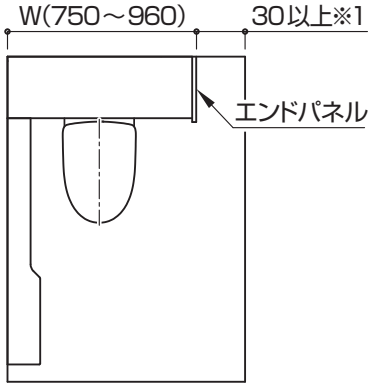


※指の挟み込み防止のため、30mm以上のすき間確保が必要です。

W	A
750～779	1345
780～960	1270

エンドパネルを設置する場合

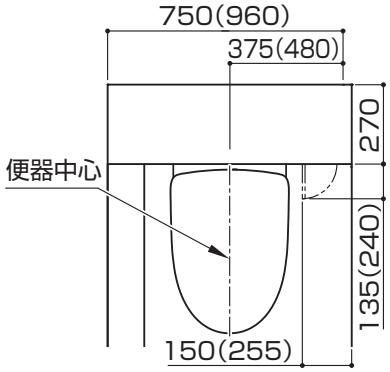
・エンドパネルを利用して、壁とすき間を空けて設置することもできます。
ただし、以下条件の場合は設置できません。
・排水抜き方向側への設置
・手洗器側への設置
・両側への設置
・図は左勝手の場合です。右勝手の場合は左右反転となります。



※図はエンドパネルLタイプの場合
※1 指の挟み込み防止のため、30mm以上のすき間確保が必要です。

2 キャビネット扉の開閉範囲

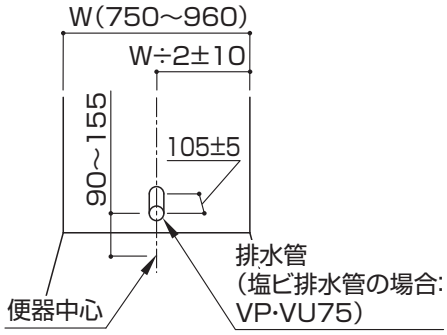
・図の扉開閉範囲内に障がい物がないことをご確認ください。
・図は間口 750mm と 960mm の場合です。
※(　) 寸法は間口 960mm の場合。



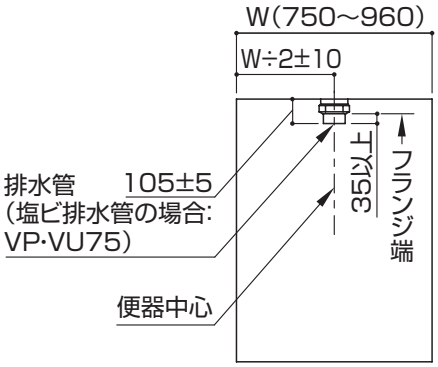
3 排水位置

・VP･VU100には接続できません。
・排水勾配は必ず1/50以上確保してください。
・便器と排水管はジャバラ管（材質:軟質塩ビ）での接続となります。

後ろ抜きの場合

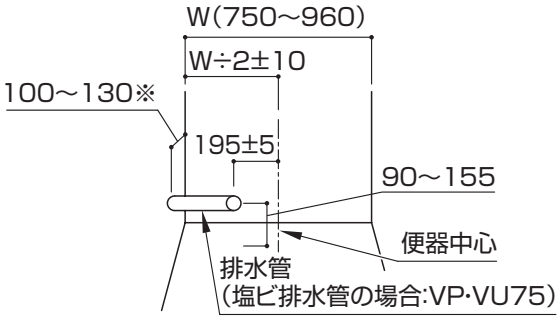


【フランジ付きの場合】
排水位置高さは90～155mmです。

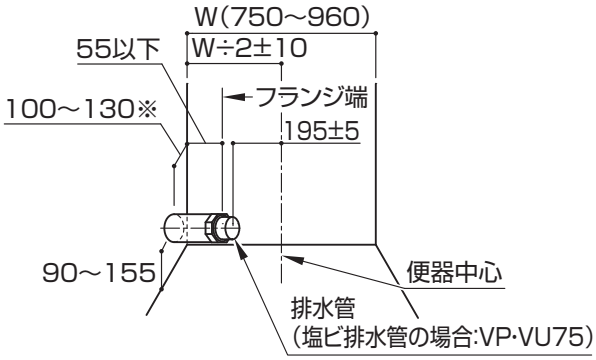


左右抜きの場合

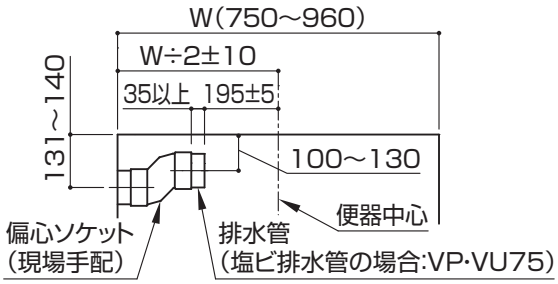
図は左抜きの場合です。
右抜きの場合は左右対称となります。



【フランジ付きの場合】



※排水位置が後壁から131～140mmの場合は、
別途偏心ソケットを手配し図の位置に立ち上げてください。
偏心ソケットは逆勾配にならないように取り付けてください。



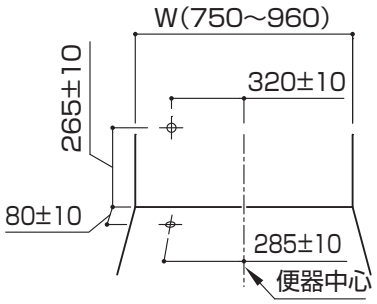
4 給水位置

給水圧力は以下の範囲で使用してください。
最低必要水圧(流動時):0.05MPa
最高水圧(静止時):0.75MPa
給水温度:40℃以下

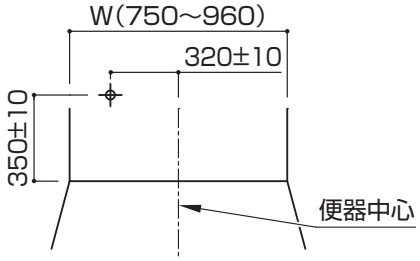
給水新設

・給水管は壁・床仕上げ面と同一面で立ち上げてください。
・図の位置に給水管(Rc1/2)の中心があることをご確認ください。

後ろ抜きの場合



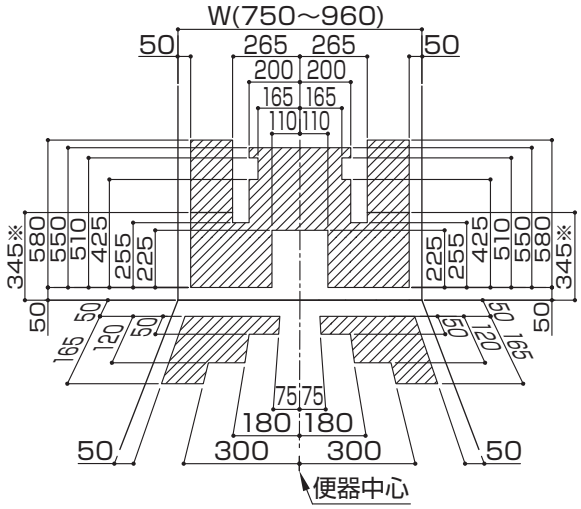
左右抜きの場合



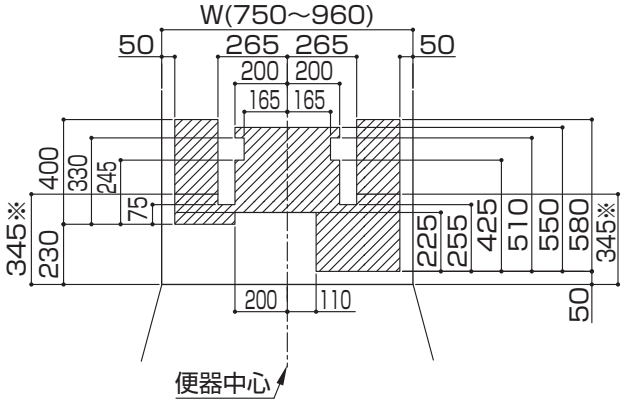
既存給水流用（リモデル用）

・給水管は壁・床仕上げ面と同一面で立ち上げてください。
・給水位置が便器中心より右側の場合、
延長用ホース(UGTN98L2X50RS) を別途ご発注ください。
・※印より上に給水位置がある場合、干渉により取り付けられる棚板の数が減少する場合があります。

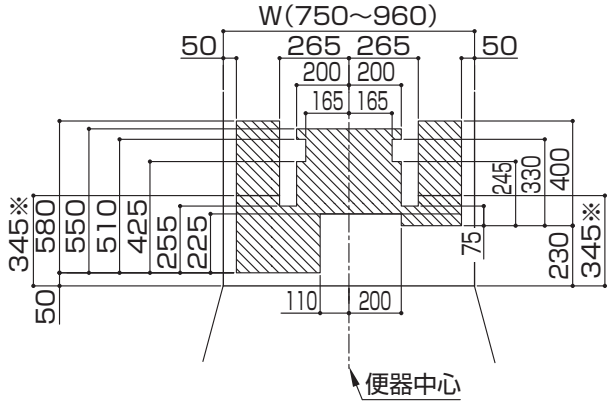
後ろ抜きの場合



左抜きの場合



右抜きの場合



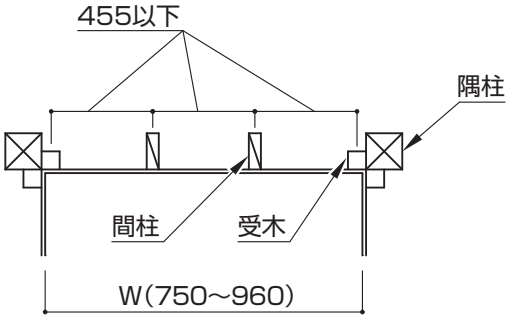
5 補強材位置

ねじ位置については下記URL内の「ねじ位置情報」をご覧ください。
【URL】
https://search.toto.jp/contents/navi/construction/eito/kinejiichijoho/kinejiichijoho.htm

木材や建築部材が腐食などで強度不足でないことをご確認ください。

大便器キャビネット部

間柱および受木、または軽量鉄骨（スタッド）が所定の位置にあることをご確認ください。



壁裏補強なし

後壁について

壁裏補強なしで施工する場合、大便器キャビネットを間柱および受木または軽量鉄骨（スタッド）に固定します。

横壁について

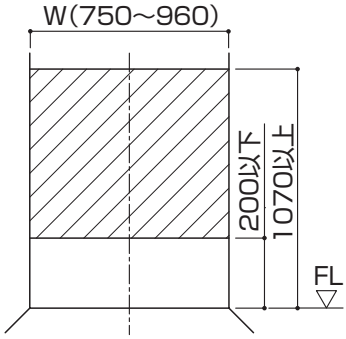
壁裏補強なしで施工する場合、ボードアンカー（オプション：UGA490B）をご使用ください。

壁裏補強あり

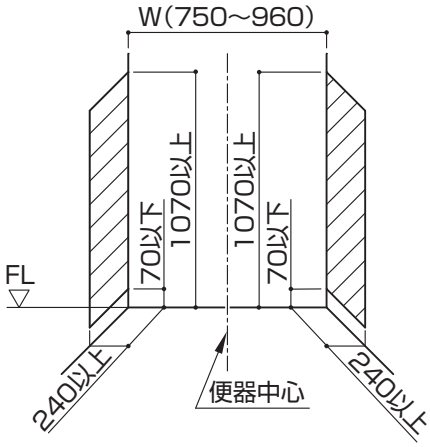
・間柱および受木が所定の位置にない場合、壁裏補強が必要です。図の斜線範囲（周辺部材を設置する場合は取付面）にt12以上の普通合板（JAS規格品）を入れてください。
・合板は間柱および受木に固定してください。

参照 周辺部材の取り付け：各施工説明書

後壁について

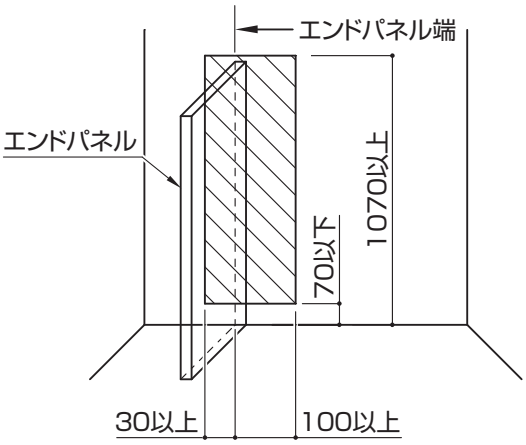


横壁について



エンドパネル部

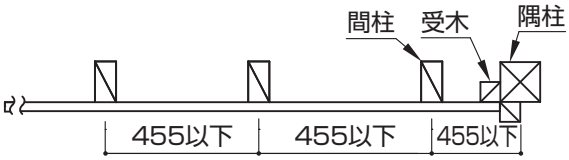
・図の斜線範囲にt12以上の普通合板(JAS規格品)を入れてください。
・図はエンドパネルRタイプの場合です。
Lタイプの場合は左右反転となります。

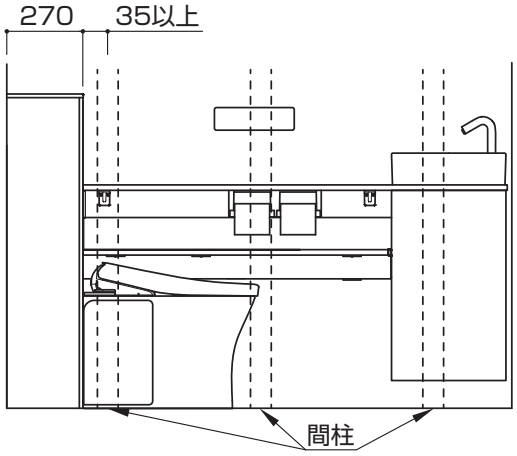


手洗器キャビネット部

壁裏補強なし

・壁裏補強なしで施工する場合、間柱および受木または軽量鉄骨(スタッド)にカウンターを固定します。
間柱および受木、または軽量鉄骨(スタッド)が所定の位置にあることをご確認ください。
・間柱以外の壁裏補強のない壁面の場合、ボードアンカー(オプション:UGA490B)をご使用ください。

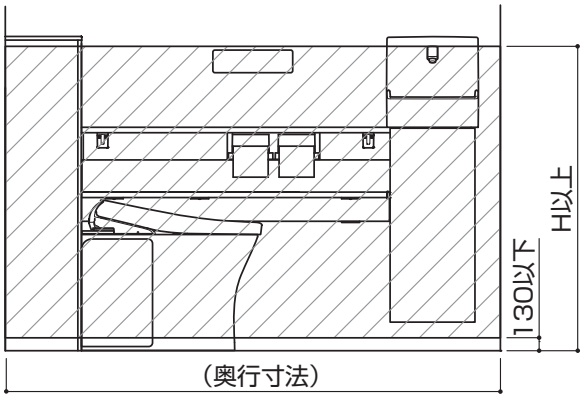




壁裏補強あり

・間柱および受木が所定の位置にない場合、壁裏補強が必要です。図の斜線範囲(周辺部材を設置する場合は取付面)にt12以上の普通合板(JAS規格品)を入れてください。
・合板は間柱および受木に固定してください。

参照 周辺部材の取り付け：各施工説明書



手洗器	H
ベッセルタイプ(丸形/角形)	740
ハイバックタイプ	1030

6 電気配線

各器具の定格消費電力をご確認のうえ、適切な配線を行ってください。（AC100V 50/60Hz共通です。）
表以外の電気器具を設置する場合、定格消費電力をご確認のうえ適切な配線を行ってください。

定格消費電力	
ウォシュレット	1280W（F4A）
	1278W（F3A）
	1277W（F1A/F2A）
電気温水器	約505W
自動水栓	待機時:0.4W（最大値3W） 作動時:0.6W（最大値5W）

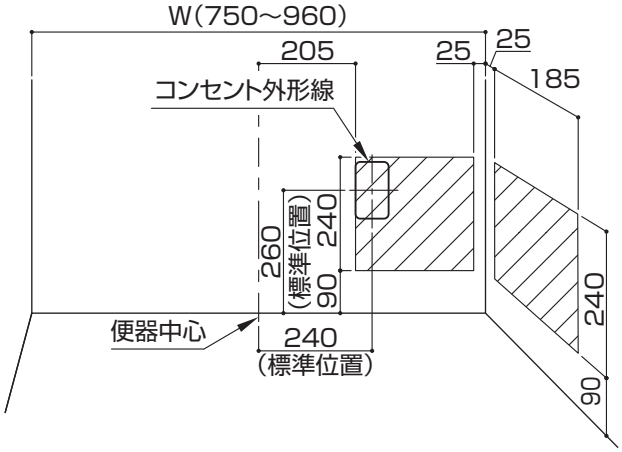
大便器キャビネット部

・ 埋込アースターミナル付2口コンセントを取り付けてください。
・ コンセントは付属品として同梱されておりませんので、現場にて手配してください。

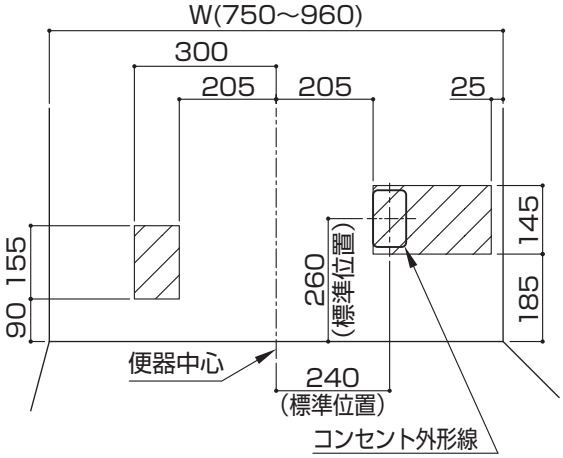
コンセント設置位置

・既存のコンセントを使用する場合、図の斜線範囲にコンセントの外形が納まることをご確認ください。
・向かって右側にエンドパネルを使用する場合、横壁のコンセントは使用できません。
・コンセントは給水管の下にならない位置に取り付けてください。

後ろ抜き / 左抜きの場合



右抜きの場合

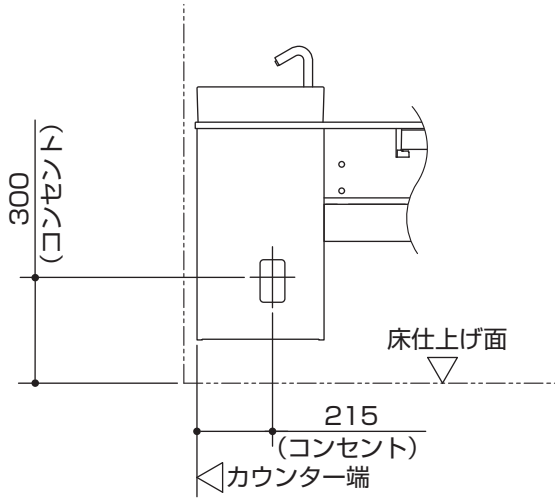


手洗器キャビネット部（自動水栓（電気温水器付）の場合）

あらかじめ手洗器キャビネット内に、大便器用コンセントとは独立系統で、別途埋込アースターミナル付2口コンセントを取り付けておいてください。

コンセント設置位置

図のコンセント位置は左勝手の場合です。
右勝手の場合は左右反転となります。



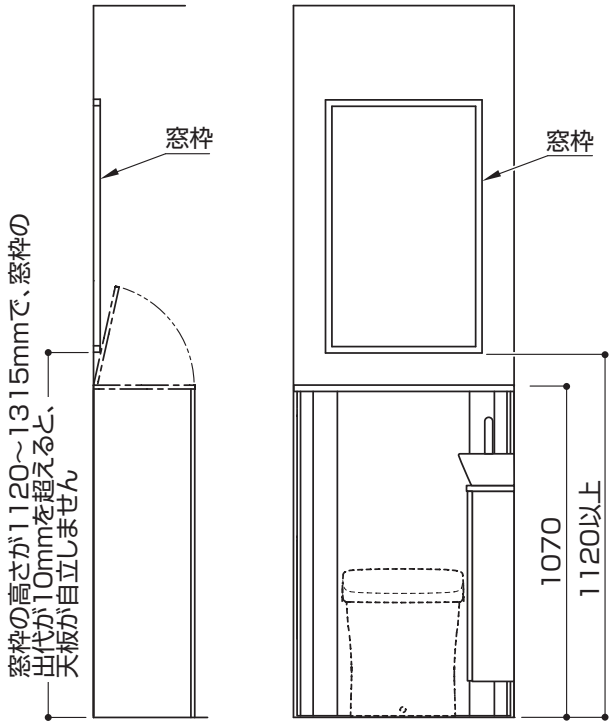
7 幅木

・使用する幅木は高さ100mm以下、厚さ10mm以下としてください。
・本商品は、幅木カット不要で設置できます。

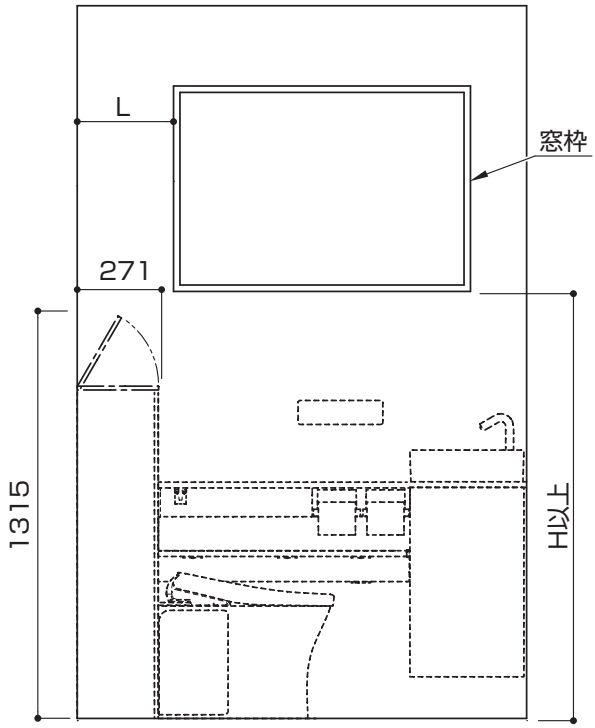
8 窓枠

壁に窓枠や腰壁の笠木などの突起物がある場合、図のような制約が付きます。
事前に商品と干渉しないことをご確認ください。

大便器後壁に窓がある場合



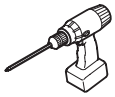
大便器横壁に窓がある場合



H			
ハイバックタイプ		ベッセルタイプ(丸形/角形)	
L=315以上	L=315未満	L=315以上	L=315未満
1100	1345	895	1345

9 必要工具

一般水道工事に使う工具以外に、下記の工具をご用意ください。


電動ドライバー
・(+)65mm、200mm #2ビット
・(+)200mm #3ビット

電動ドリル
φ3、φ4.5、φ5、φ10

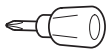
ナット締付工具
(品番:TZY15N)

プラスドライバー
65mm、200mm
#2ビット

ドライバー
(給水フィルター清掃用)

アングル形
ドライバー

のこぎり


スタビー
ドライバー(+)
#2ビット

パイプソー

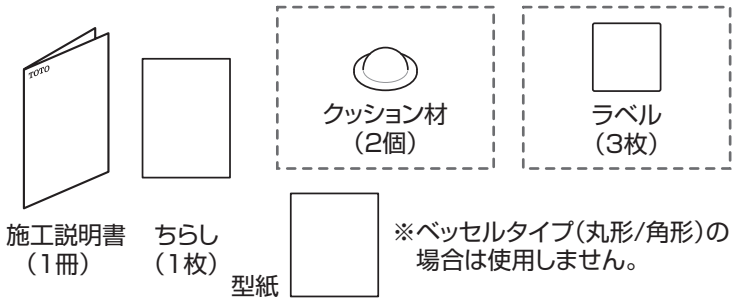
シールテープ

3. 部品の確認

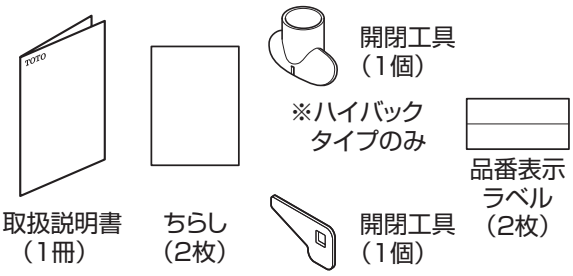
専用の施工説明書が同梱されている商品は、外装箱のみ表記しています。

詰め合わせ箱

施工説明書



取扱説明書

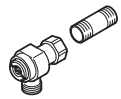


止水栓

※止水栓は必ず商品同梱の専用止水栓（フィルター付き）を取り付けてください。

【給水新設用】

壁給水

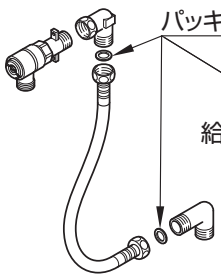


（1セット）

床給水

（1セット）

【既存給水流用】



（1セット）

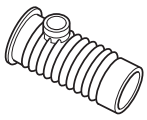
固定板
（1個）

なべ小ねじ
M4×8（2本）

座金付
タッピンねじ
4.5×38（2本）

排水接続管セット

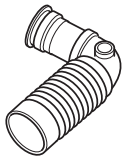
【後ろ抜き】



排水接続管
（1個）

ホースクランプ
（2個）

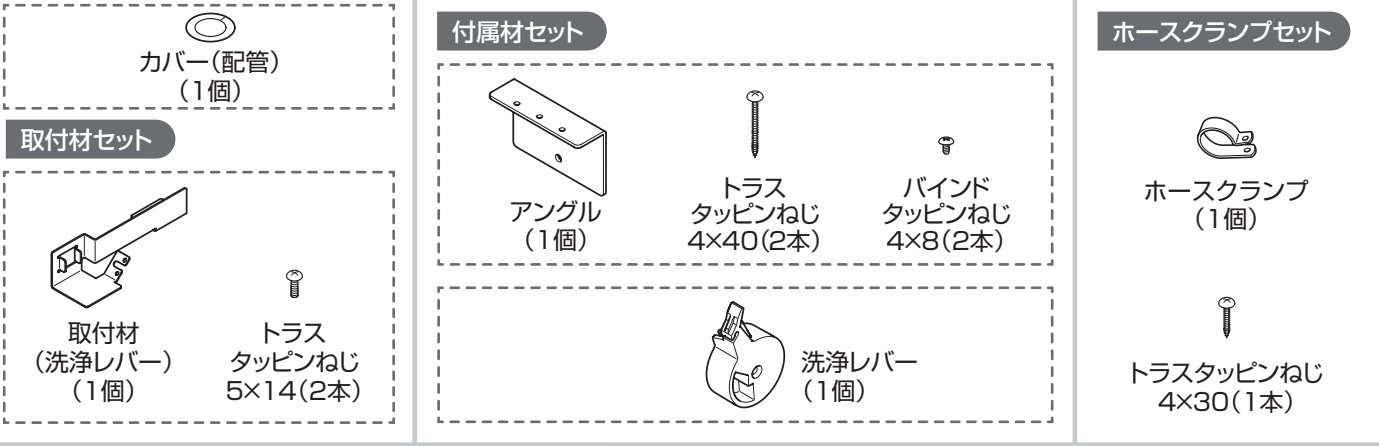
【左右抜き】

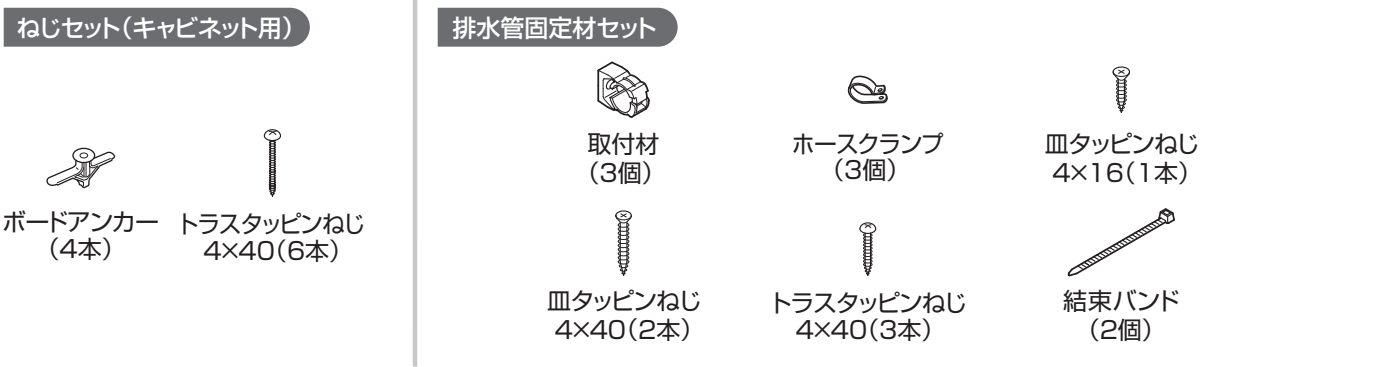


排水接続管
（1個）

ホースクランプ
（2個）

付属材セット（キャビネット）





詰め合わせ箱（つづき）

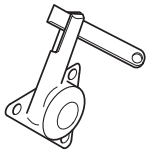
天板開閉部材セット

スライド丁番セット

スライド丁番
（2個）

皿タッピンねじ
3.5×14（4本）

ダンパーセット



ダンパー 本体
（1個）

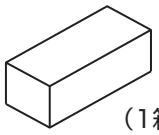
ダンパー 座金
（1個）

トラス小ねじ
M4×8（5本）

トラス小ねじ
M4×5（1本）

選択商品

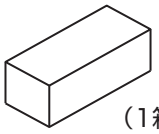
ハンドグリップ



（1箱）

タオル掛け

【壁取付タイプ】

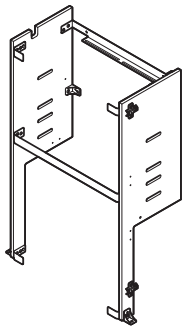


（1箱）

コアキャビネット

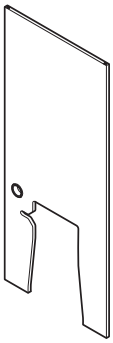
コアキャビネット

コアキャビネット組品



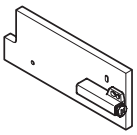
（1台）

前板組品



（1枚）

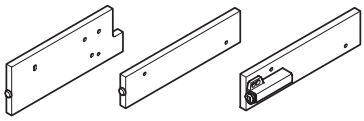
側板組品（手洗器と反対側）



側板組品
（1枚）

トラス
タッピンねじ
4×40（2本）

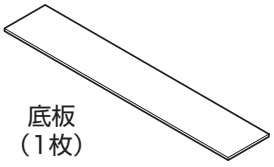
側板組品（手洗器設置側）



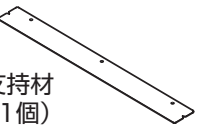
側板組品
（1セット）

トラス
タッピンねじ
4×40（6本）

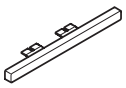
底板セット



底板
（1枚）



支持材
（1個）



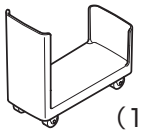
キャップ
（1個）

アングル材
（2個）

トラス
タッピンねじ
4×10（5本）

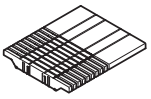
トラス
タッピンねじ
4×40（2本）

引き出しラック

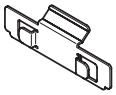


（1台）

棚板セット



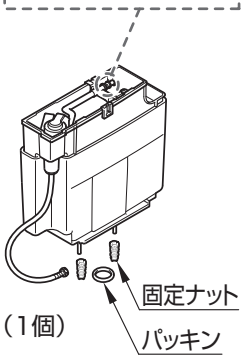
棚板
（2枚）



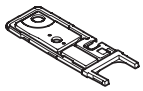
支持材
（2個）

セットタンク

ピン（1個）
※ピンはジョイント端に付いています。



（1個）



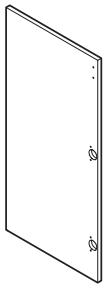
カバー（A）
（1個）

カバー（B）
（1個）

コアキャビネット（つづき）

扉セット（手洗器設置側）

扉組品



扉
（1枚）

スライド丁番セット

スライド丁番
（2個）

丁番用スペーサー
（2個）

皿タッピンねじ
3.5×14（4本）

平板金・ねじセット

平板金
（1個）

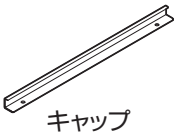
トラスタッピンねじ
4×10（4本）

キャップセット

キャップ
（1個）

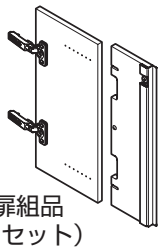
トラスタッピンねじ
4×8（2本）

キャップセット



キャップ
（1個）

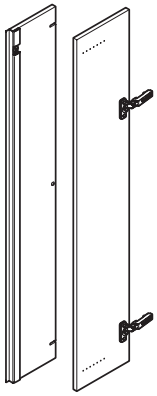
トラスタッピンねじ
4×8（2本）



扉組品
（1セット）

トラスタッピンねじ
4×20（3本）

扉セット（手洗器と反対側）

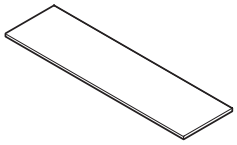


扉組品
（1セット）

トラス
タッピンねじ
4×20（3本）

※対応間口によって裏扉の仕様
（切り欠きの有無）は異なります。

天板セット



天板
（1枚）

キャップセットL

キャップ（L）
（1個）

トラス
タッピンねじ
4×8（2本）

キャップセットR

キャップ（R）
（1個）

トラス
タッピンねじ
4×8（2本）

取付材セット（横さん）

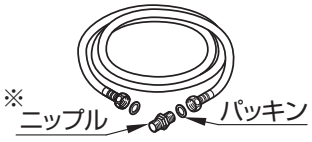
横さん
（1本）

皿タッピンねじ
4×50（3本）

MEMO

詰め合わせ箱（手洗器キャビネット用）

フレキホース



（1本）

※手洗器がハイバックタイプかつ
ハンドル式水栓の場合のみ同梱

付属材セット（手洗器）

【ベッセルタイプ（丸形/角形）】

付属材セット（手洗器）

付属材セット

- クリップナット（2個）
- ばね座金 M6（2個）
- 寸切ボルト M6×65（2本）
- ローレットナットM6（2個）
- 平座金 M6（4個）

- アングル（2個）
- クッション材（1個）
- トラスタッピンねじ 4×12（4本）
- トラスタッピンねじ 4×50（4本）

【ハイバックタイプ】

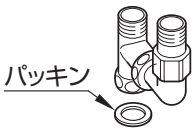
付属材セット（手洗器）

付属材セット

- クリップナット（2個）
- ばね座金 M6（2個）
- 寸切ボルト M6×40（2本）
- ローレットナットM6（2個）
- 平座金 M6（4個）

- 取付材（2個）
- アングル（2個）
- クッション材（1個）
- トラスタッピンねじ 4×12（2本）
- トラスタッピンねじ 4×50（8本）

分岐金具



（1個）

MEMO

詰め合わせ箱（手洗器キャビネット用）（つづき）

選択商品

自動水栓

【ベッセルタイプ（丸形）】

（1個）

【ベッセルタイプ（角形）】

（1個）

※ハイバックタイプは手洗器にセットされています。

ハンドル式水栓

【ベッセルタイプ（丸形）】

（1個）

【ベッセルタイプ（角形）】

（1個）

【ハイバックタイプ】

（1個）

自動水栓コントローラー部

コントローラー（1個）

自動水栓機能部（1個）

ファスナーガイド（1個）

つば付ナット（1個）

取付金具（1個）

座付タッピンねじ 4.5×38（2本）

ホースクランプ（1個）

コントローラー固定材セット

コントローラー固定材（1個）

トラスタッピンねじ 4×30（3本）

コンセントプレートカバー※電気温水器付の場合

コンセントプレートカバー（1個）

トラスタッピンねじ 4×30（2本）

タオル掛け

【手洗器下取付タイプ】

（1セット）

紙巻器

【メタル製】

紙巻器本体（1個）

なべタッピンねじ 4×40（4本）

【樹脂製】※ねじセットの番号は各袋に記載の番号です。

紙巻器本体（1個）

コーナースペーサー（2個）

ねじセット①

なべタッピンねじ 4.5×40（4本）

平座金（4個）

ねじセット④

トラスタッピンねじ 4×14（4本）

紙巻器固定材※メタル製紙巻器の場合

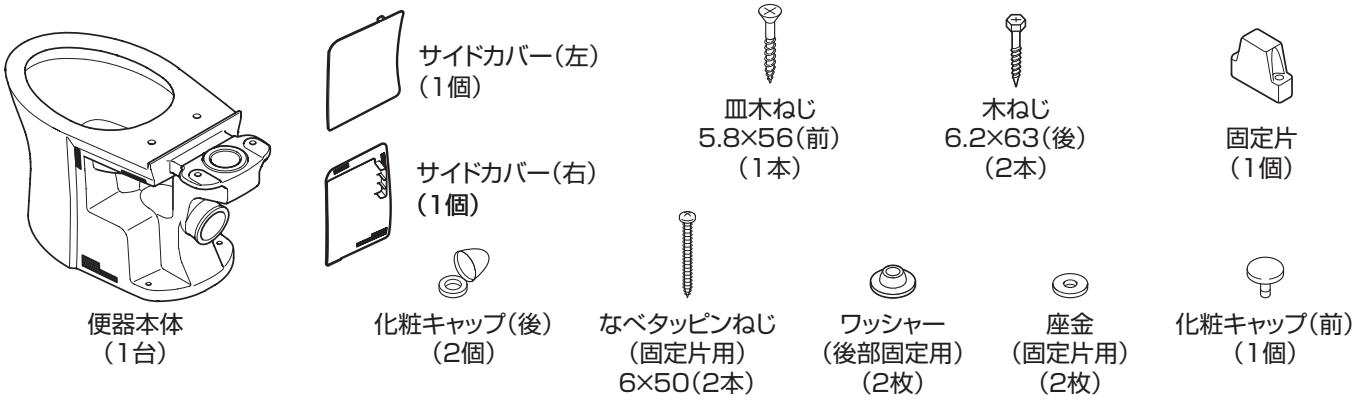
紙巻器固定材（1個）

皿タッピンねじ 4×40（2本）

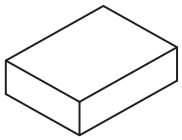
皿タッピンねじ 4×16（2本）

その他包装

大便器

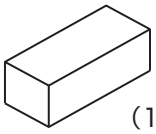


ウォシュレット



（1箱）

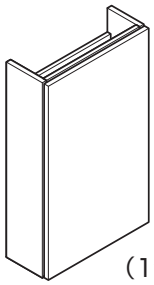
便器洗浄ユニット



（1箱）

<下記部品は使用しません>

手洗器キャビネット



（1台）

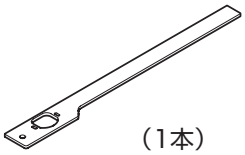
MEMO

その他包装（つづき）

カウンター

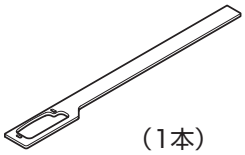
上段カウンター

【ベッセルタイプ(丸形)】



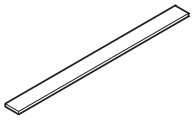
（1本）

【ベッセルタイプ(角形)】



（1本）

【ハイバックタイプ】



（1本）

ブラケットセット

ブラケット
（3個）

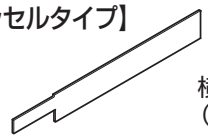
なべワッシャー
タッピンねじ
4×16(9本)

トラス
タッピンねじ
4×30(6本)

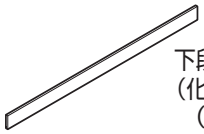
※カウンターの長さにより使用数が異なります。

横さん

【ベッセルタイプ】

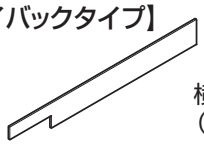


上段
横さん
（1本）



下段横さん
（化粧なし）
（1本）

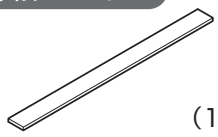
【ハイバックタイプ】



上段
横さん
（1本）

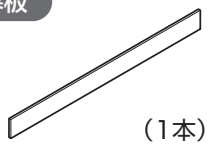
皿タッピンねじ
4×40(4本)
※カウンターの長さにより
使用数が異なります。

下段カウンター



（1本）

幕板



（1本）

ねじセット

皿タッピンねじ
4×40(1本)

低頭タッピンねじ
4.5×50キャップ付(8本)
※カウンターの長さにより
使用数が異なります。

ブラケットセット

ブラケット
（3個）

なべワッシャー
タッピンねじ
4×16(6本)

トラス
タッピンねじ
4×20(6本)

※カウンターの長さにより
使用数が異なります。

付属材セット

取付材
（4個）

アングル
（7個）

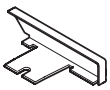
座金組込
化粧ねじ
4×12(3本)

トラス
タッピンねじ
4×10(22本)

※カウンターの長さにより
使用数が異なります。

キャップセット

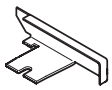
【上段カウンター】



キャップ
（上段カウンター）
（1個）

トラスタッピンねじ
4×10(1本)

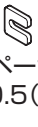
【下段カウンター】



キャップ
（下段カウンター）
（1個）

トラスタッピンねじ
4×10(1本)

【上段横さん】



キャップ
（上段横さん）
（1個）

なべワッシャータッピンねじ
3×6(2本)

【幕板】

キャップ
（幕板）
（1個）

スペーサー
t=0.5(4個)

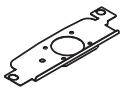
トラスタッピンねじ
4×10(2本)

取付材セット(排水ソケット)

【ベッセルタイプ(丸形)】

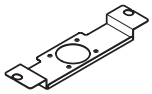
取付材
（1個）

【ベッセルタイプ(角形)】



取付材
（1個）

【ハイバックタイプ】



取付材
（1個）

座金組込なべ小ねじ
4×12(4本)

排水ソケットセット

排水ソケット
（1個）

パッキン(排水口)
（1個）

袋ナット
（1個）

パッキン(排水口)
（1個）

ドラムトラップ組品

ドラム
トラップ
（1個）

クイックファスナー
（1個）

排水管組品

（1本）

排水管組品

手洗器用
排水ホース
（1本）

クイックファスナー
（1個）

付属材セット

トラスタッピンねじ
4×12(2本)

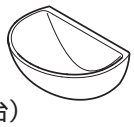
結束バンド
（2個）

ホースクランプ(大)
（2個）

その他包装（つづき）

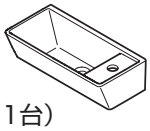
手洗器

【ベッセルタイプ(丸形)】



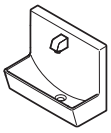
（1台）

【ベッセルタイプ(角形)】

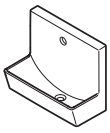


（1台）

【ハイバックタイプ】



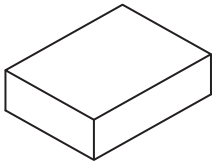
自動水栓
（1台）



ハンドル式水栓
（1台）

選択商品

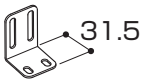
電気温水器



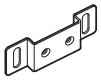
（1箱）

〈下記部品は使用しません〉

固定アングル1
（1個）



固定アングル2
（1個）



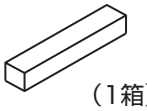
スペーサー
（1個）

壁固定用タッピンねじ
4×30(2本)

スペーサー取付用ねじ
M4×5(2本)

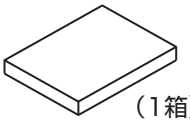
固定アングル
取付用ねじ
M4×10（2本）

木製手すり



（1箱）

化粧鏡



（1箱）

オプション

エンドパネル

エンドパネル
（1枚）

施工部材セット(エンドパネル用)

アングル材
（3個）

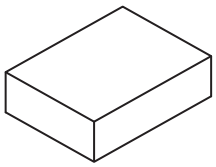
ねじセット

トラス小ねじ
4×18(2本)

トラスタッピンねじ
4×30(9本)

トラスタッピンねじ
4×12(8本)

バックパネル

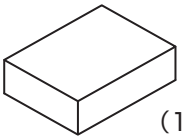


（1箱）

ボードアンカー

※タイプ･現場状況により
必要数量が異なります。

防振シート

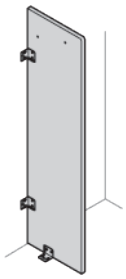
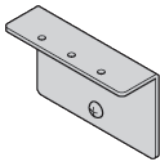
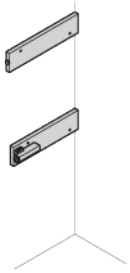
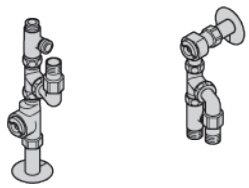
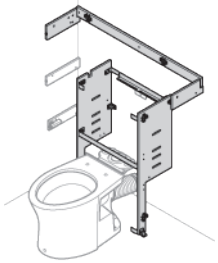
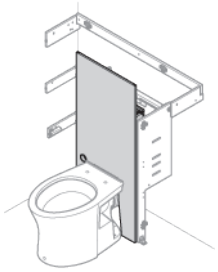
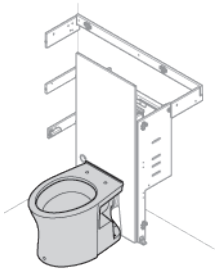
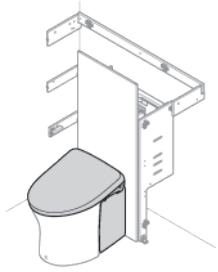
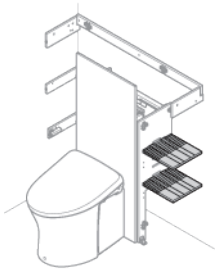
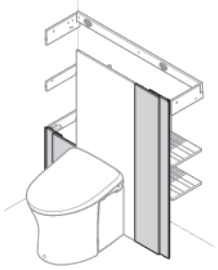
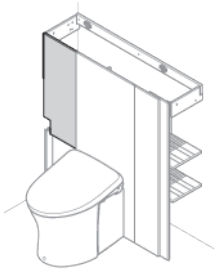
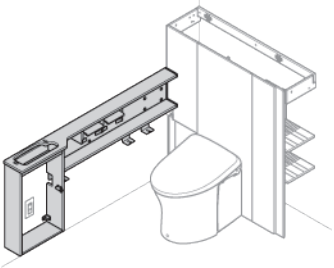
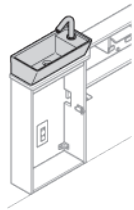
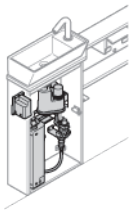
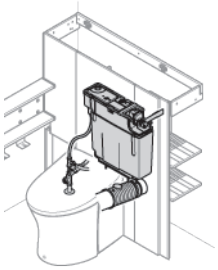
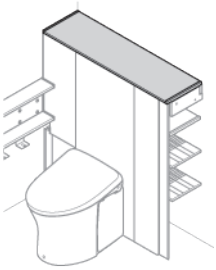
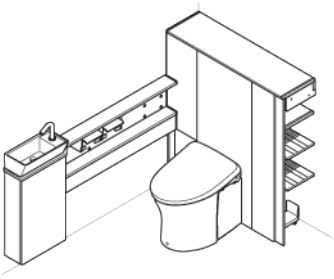


（1箱）

MEMO

4. 施工ダイジェスト

施工ダイジェストはおおよその施工の流れをご理解いただくためのものです。
施工にあたっては、手順編の内容を十分に確認し、安全上のご注意、施工上のご注意を必ずお守りください。

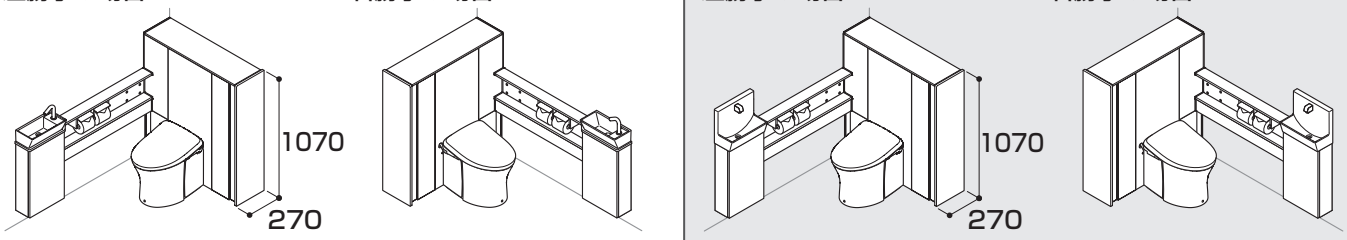
1. エンドパネル（オプション）	2. アングル	3. 側板組品（手洗器設置側）	4. 止水栓
			
5. 大便器の仮設置・排水部材	**6. コアキャビネット**	**7. セットタンク**	**8. 大便器**
			
9. ウォシュレット	**10. 棚板**	**11. 扉**	**12. 固定扉**
			
13. 手洗器キャビネット・カウンター・幕板	**14. 手洗器・水栓金具**	**15. 給排水部材（手洗器）**	**16. 試運転・確認**
			
17. 天板	**18. 仕上げ**		
			

手順編

※商品タイプの確認▶P.2

ベッセルタイプ(丸形/角形)	ハイバックタイプ

左勝手の場合　右勝手の場合　左勝手の場合　右勝手の場合



1. エンドパネル（オプション）	▶ 24
2. アングル	▶ 25
3. 側板組品（手洗器設置側）	▶ 26
4. 止水栓	▶ 28
5. 大便器の仮設置・排水部材	▶ 35
6. コアキャビネット	▶ 38
7. セットタンク	▶ 41
8. 大便器	▶ 45
9. ウォシュレット	▶ 46
10. 棚板	▶ 49
11. 扉	▶ 51
12. 固定扉	▶ 53
13. 手洗器キャビネット・カウンター・幕板	▶ 56
14. 手洗器・水栓金具	▶ 72
15. 給排水部材（手洗器）	▶ 79
16. 試運転・確認	▶ 86
17. 天板	▶ 93
18. 仕上げ	▶ 96

マーク説明（例）

寒冷地仕様の場合を示します。

電動ドライバー使用禁止です。手締めしてください。

脱脂用アルコールで脱脂してください。

下穴をあけてください。（例:φ3の場合）

シールテープを巻いてください。

塩ビ用接着剤を塗布してください。（例:塗布の場合）

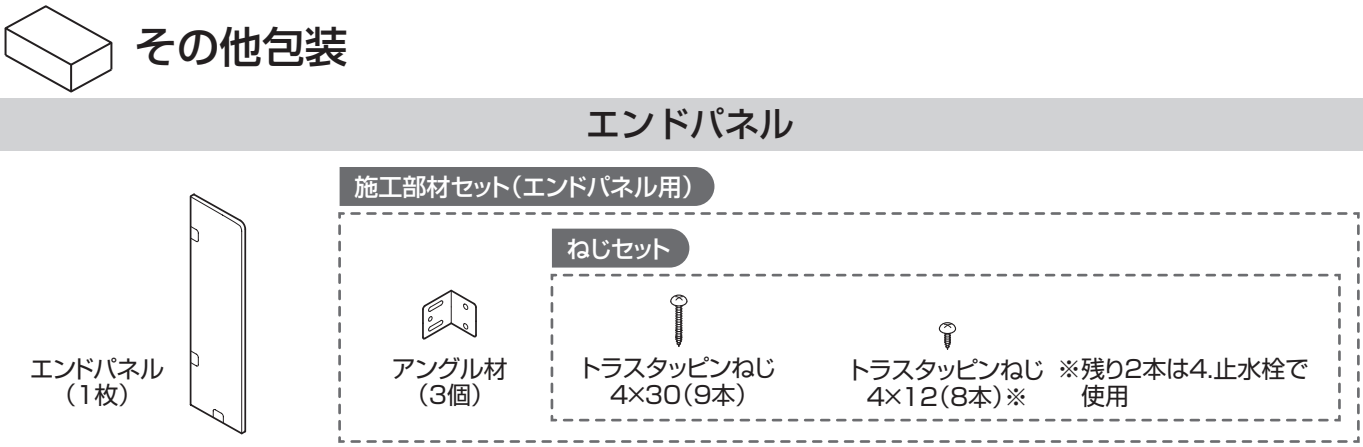
1. エンドパネル（オプション）

エンドパネルなしの場合は P.25「2. アングル」へ

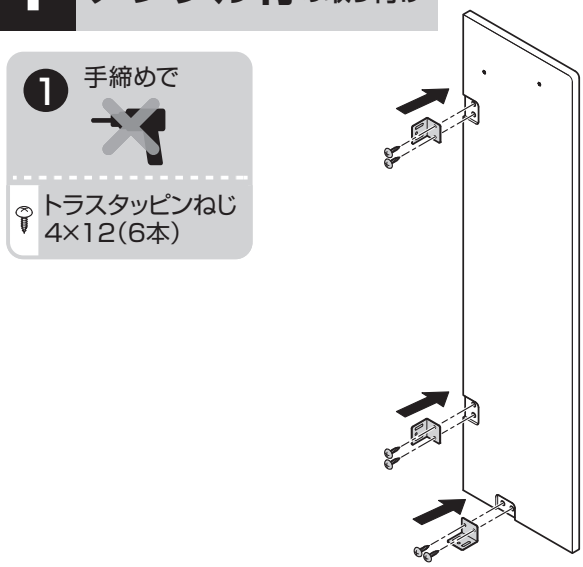
使用部材

その他包装

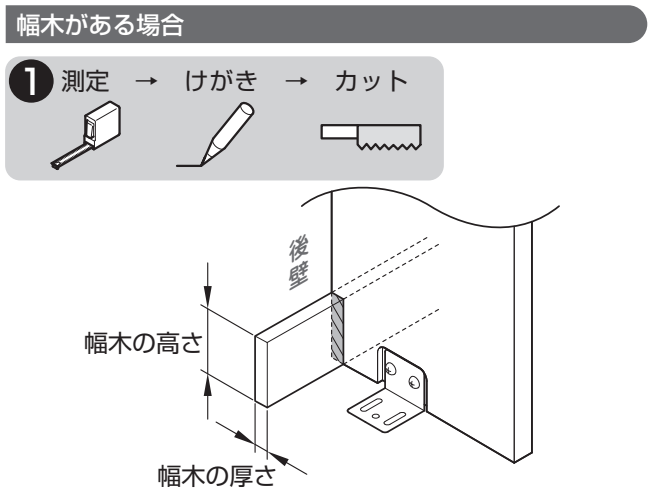
エンドパネル



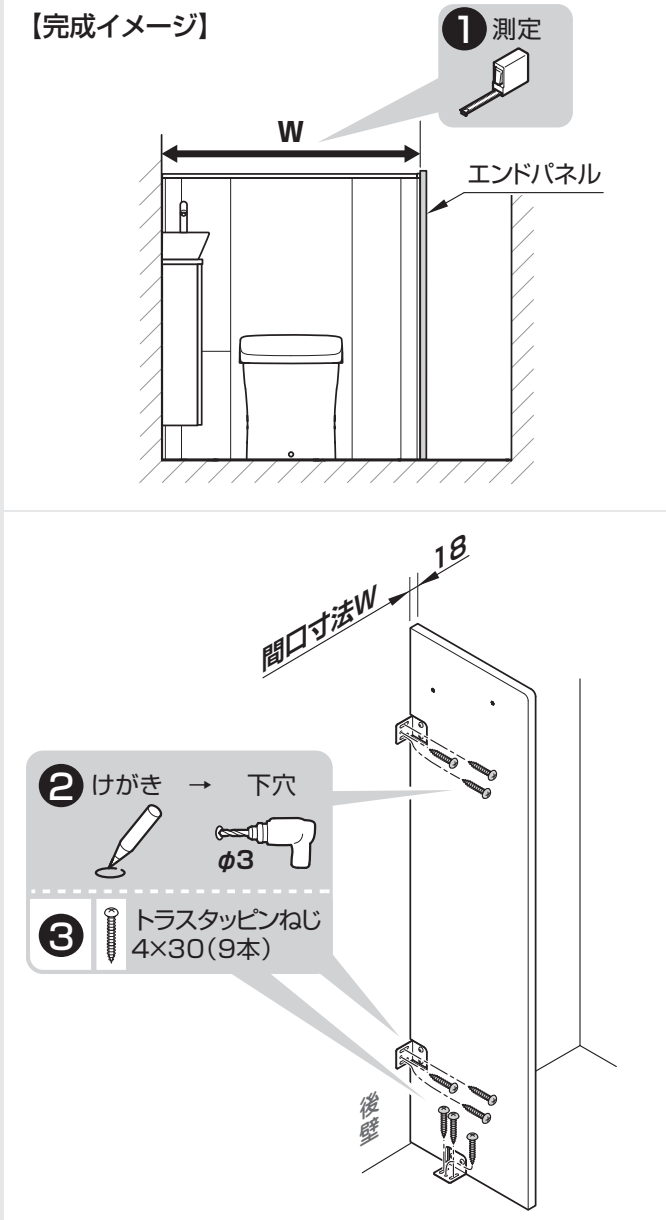
1 アングル材の取り付け



2 エンドパネルのカット



3 エンドパネルの取り付け



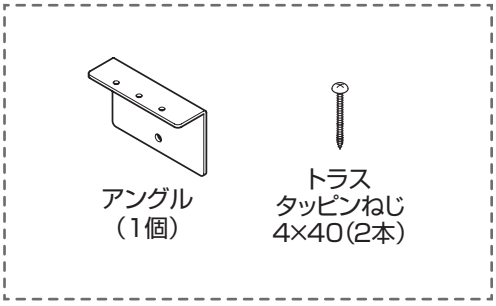
2. アングル

使用部材

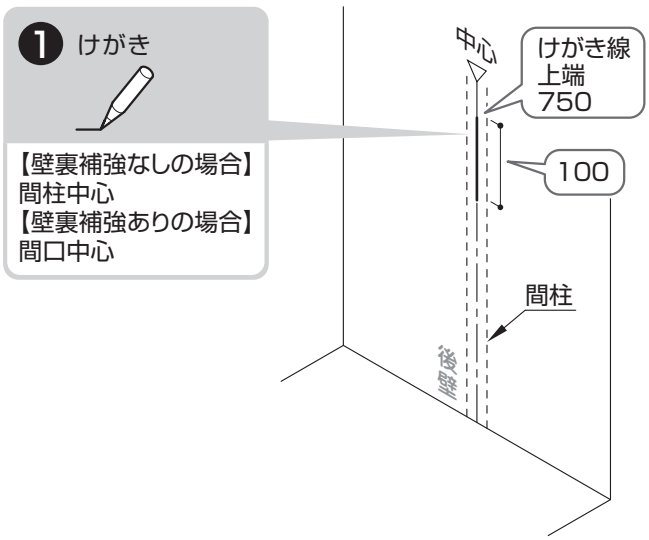
詰め合わせ箱

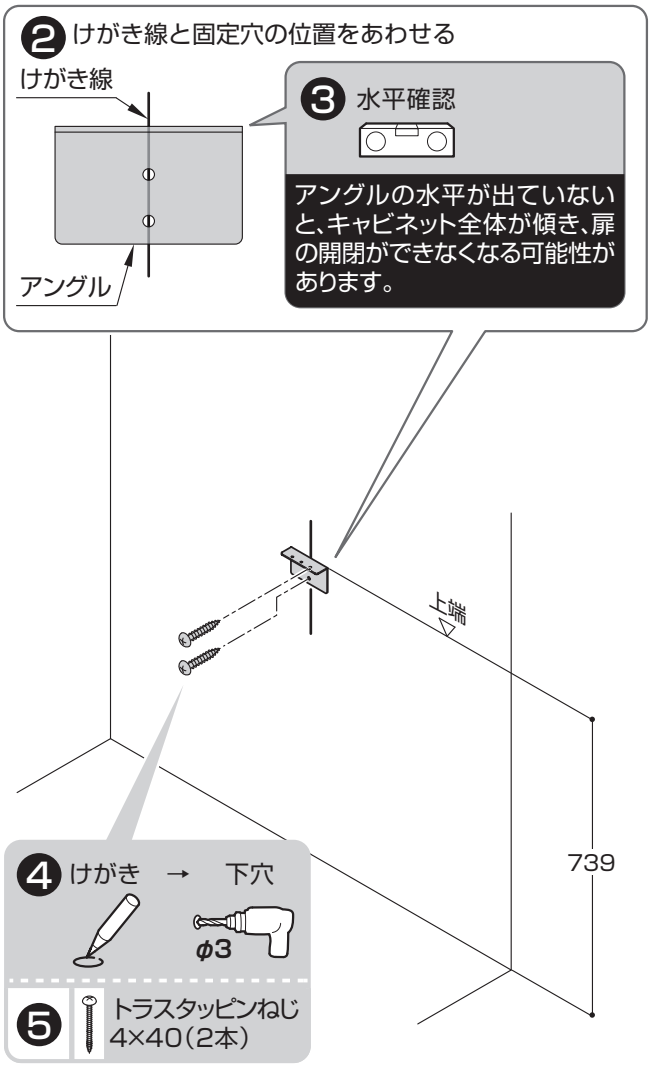
付属材セット（キャビネット）

付属材セット



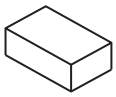
1 アングルの取り付け





3. 側板組品（手洗器設置側）

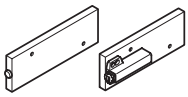
使用部材



コアキャビネット

コアキャビネット

側板組品（手洗器設置側）



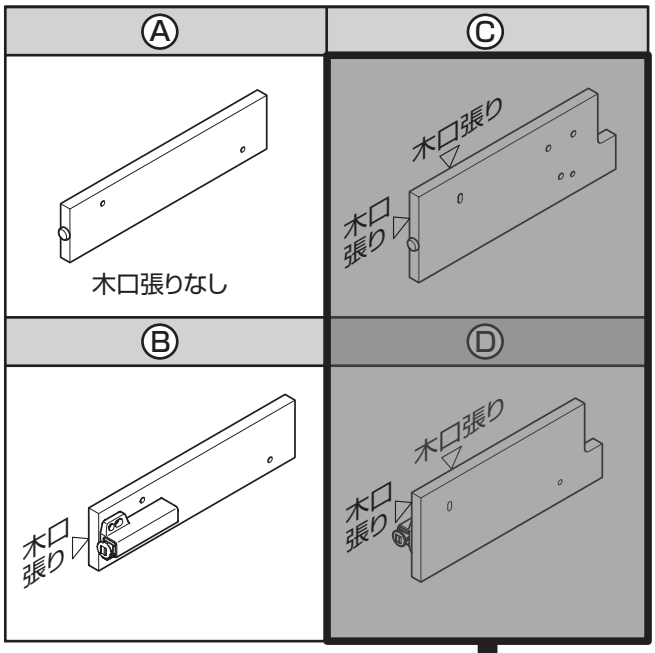
側板組品
（1セット）

トラスタッピンねじ
4×40（6本）

※残り2本は6.コアキャビネットで使用

MEMO

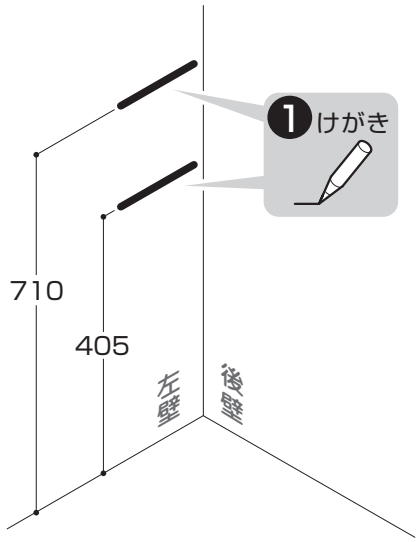
側板組品の種類



ⒸⒹはP.40「6.コアキャビネット」
5 側板組品の取り付けで使用

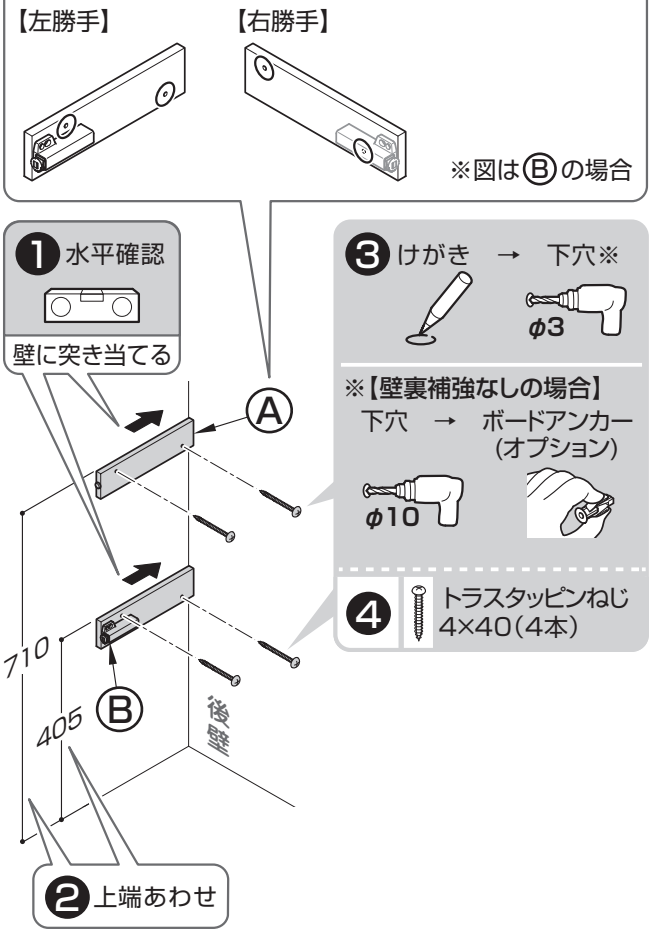
1 側板組品のけがき

※図は左勝手の場合です。
右勝手の場合は右壁にけがいてください。



2 側板組品の取り付け

左右勝手によりねじ取付位置が異なります
ⒶⒷともにR/L共通のためねじ取付位置が左右反対になります



4. 止水栓

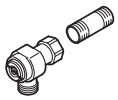
使用部材

詰め合わせ箱

止水栓

【給水新設用】

壁給水

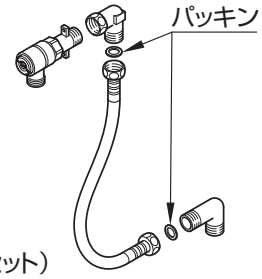


（1セット）

床給水

（1セット）

【既存給水流用】



（1セット）

固定板
（1個）

なべ小ねじ
M4×8（2本）

座金付
タッピンねじ
4.5×38（2本）

付属材セット（キャビネット）

カバー
（配管）
（1個）

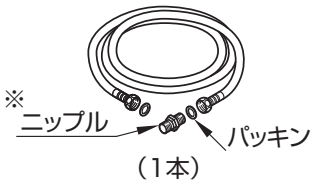
排水管固定材セット

ホースクランプ
（3個）

トラスタッピンねじ
4×40（3本）

詰め合わせ箱（手洗器キャビネット用）

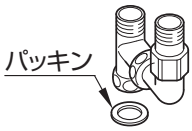
フレキホース



（1本）

※手洗器がハイバックタイプかつ
ハンドル式水栓の場合のみ同梱
15.給排水部材（手洗器）で使用

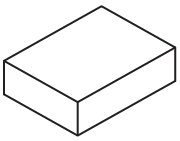
分岐金具



（1個）

その他包装

ウォシュレット



（1箱）

MEMO

給水新設の場合	▶P.29
既存給水流用の場合	▶P.32

給水新設

1 止水栓・分岐金具の取り付け

⚠注意

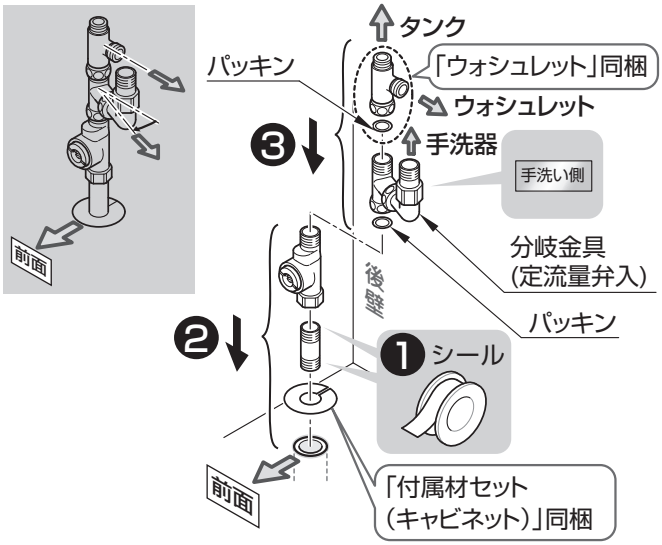
必ず守る

止水栓は必ず商品同梱の専用止水栓（フィルター付き）を取り付ける

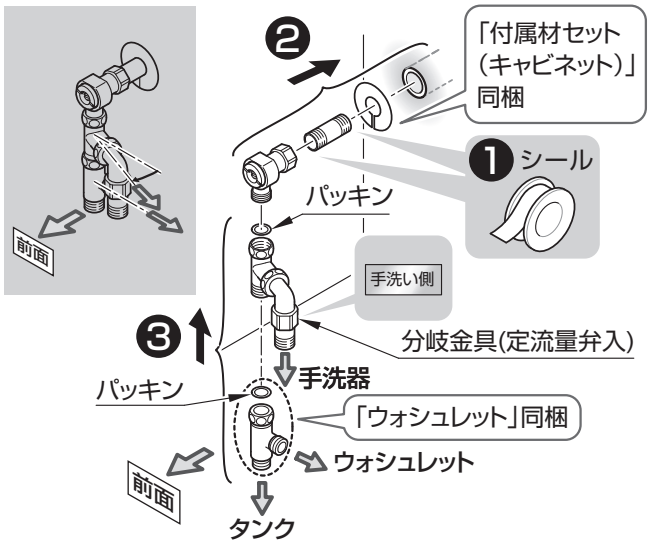
設置いただけない場合、フィルターがないため給水管内の異物が除去されず、ゴミかみや異物詰まりによる止水・吐水不良を起こすおそれがあります。

※取付位置は左右勝手とも正面向かって左となります

床給水

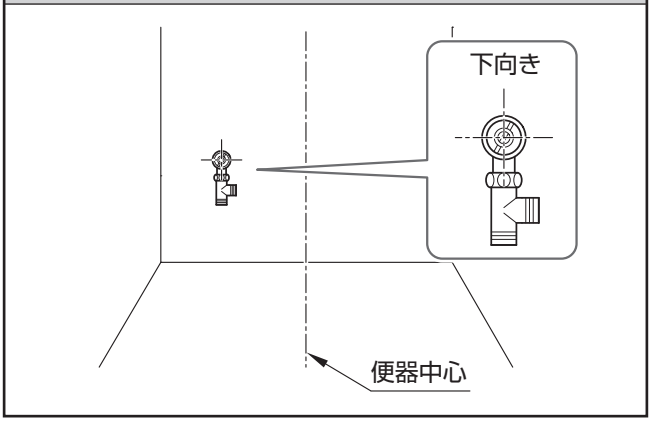


壁給水

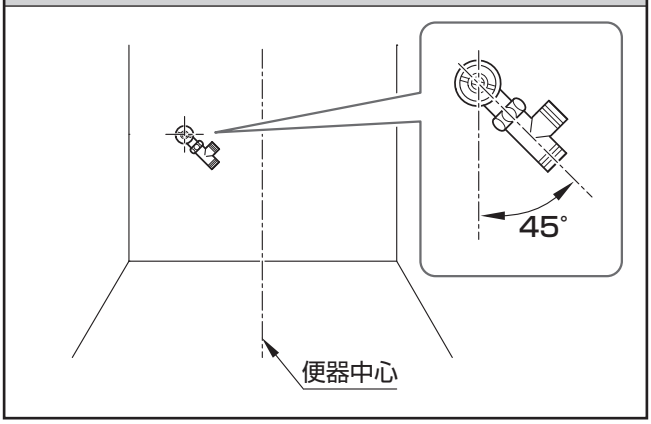


❹ 排水方向によって止水栓向きを調整する

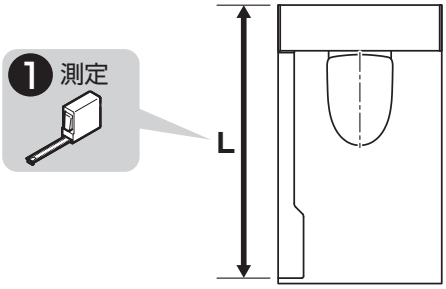
後ろ抜きの場合



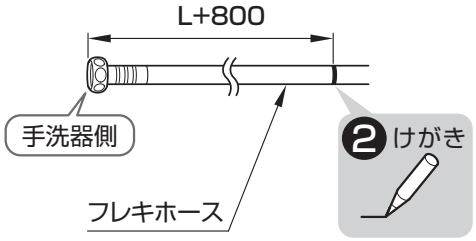
左右抜きの場合



2 ホースクランプ固定位置のけがき

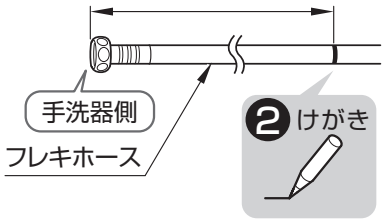


自動水栓の場合



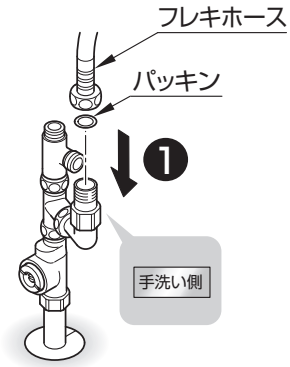
ハンドル式水栓の場合

L+690（ベッセルタイプ（丸形）/ベッセルタイプ（角形）・右勝手）
L+470（ベッセルタイプ（角形）・左勝手）
L-290（ハイバックタイプ）

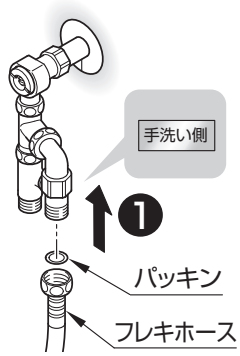


3 フレキホースの取り付け

床給水



壁給水



❷ ホースクランプで固定する

トラスタッピンねじ 4×40（3本）	「付属材セット（キャビネット）」同梱

※フレキホースの取り回しは 4 参照

4 フレキホースの取り回し

⚠警告

禁止

ホースは電源プラグ・コンセントの上を通したり、電源プラグ・コンセントに接触させたりしない
結露水などにより、電源コンセントに水がかかり、火災や感電の原因となります。

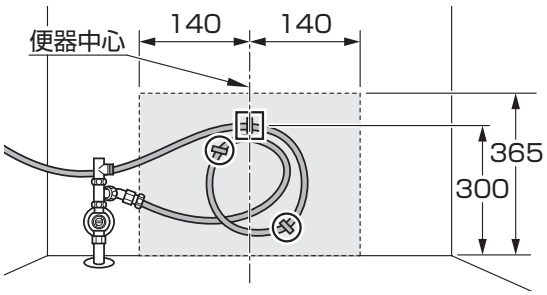
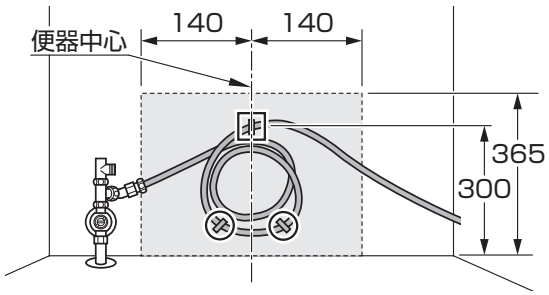
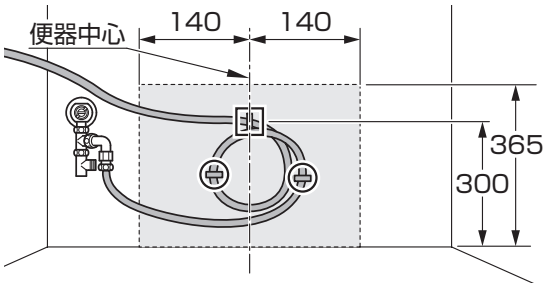
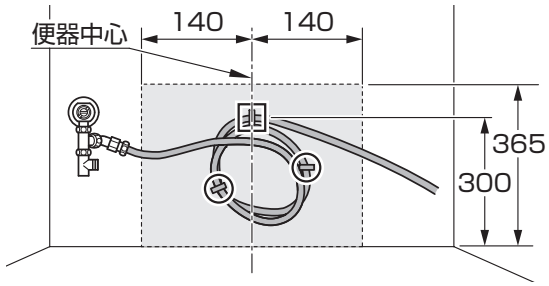
注意事項・マーク説明

□：ホース固定位置
（2 ホースクランプ固定位置のけがき箇所を固定）

⬚：ホース取り回し範囲

○：ホース固定位置
（任意の箇所を固定）

※下図は間口750mmの場合です。
間口寸法751mm以上の場合は、下図を参考に給水ホース取り回し範囲内でホースを取り回し、固定してください。

	左勝手	右勝手
床給水		
壁給水		

P.35 5.大便器の仮設置・排水部材 へ

既存給水流用

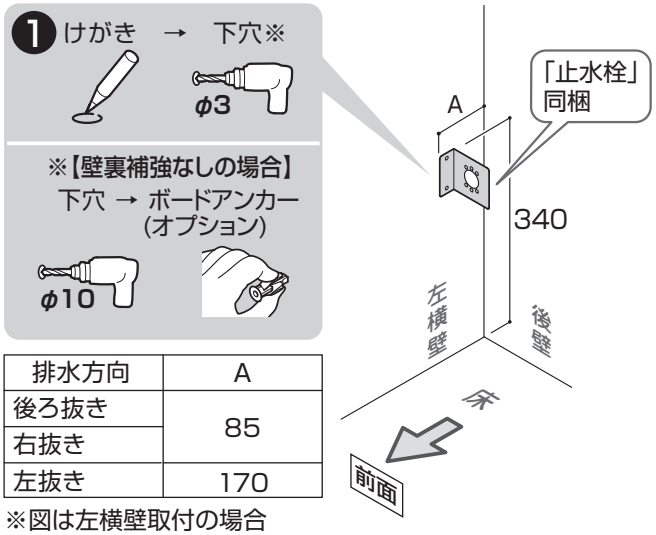
1 止水栓・分岐金具の取り付け

⚠注意

必ず守る

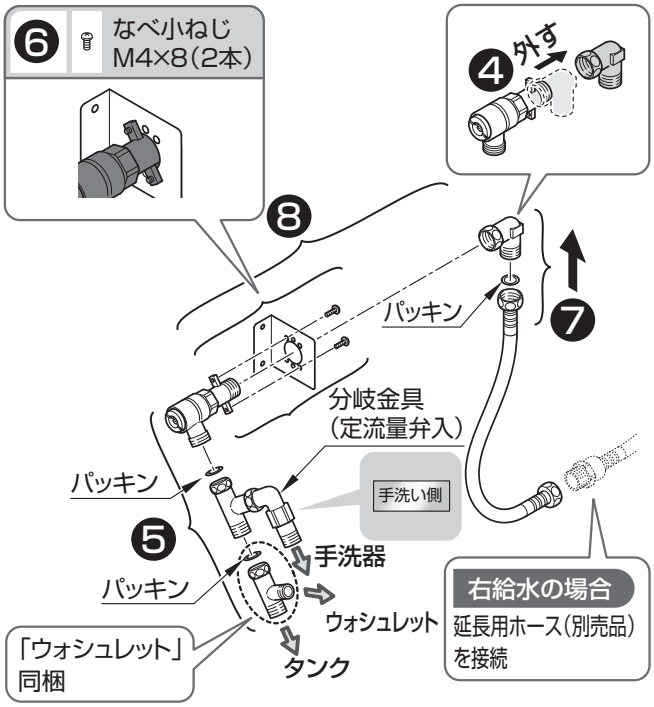
止水栓は必ず商品同梱の専用止水栓（フィルター付き）を取り付ける

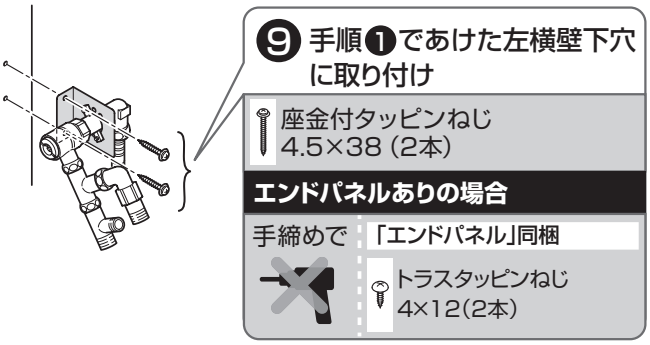
設置いただけない場合、フィルターがないため給水管内の異物が除去されず、ゴミかみや異物詰まりによる止水・吐水不良を起こすおそれがあります。



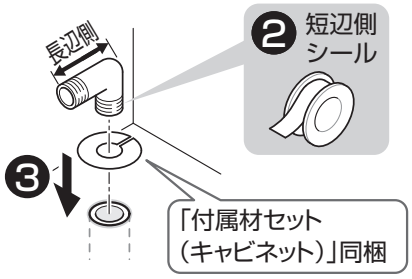
排水方向	A
後ろ抜き	85
右抜き	
左抜き	170

※図は左横壁取付の場合

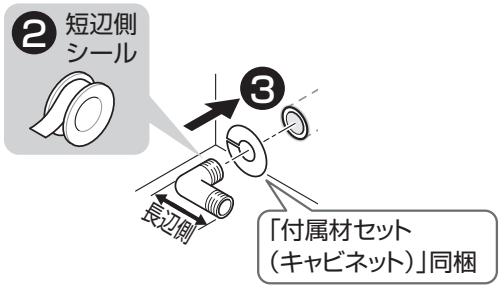




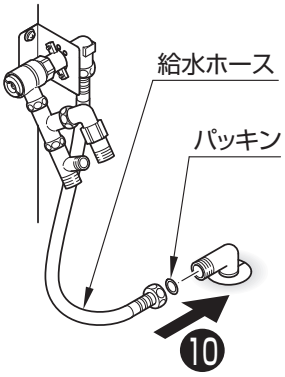
床給水



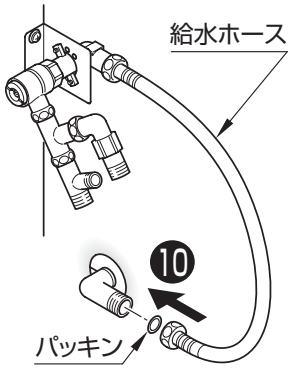
壁給水



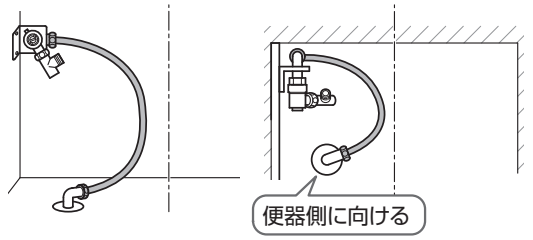
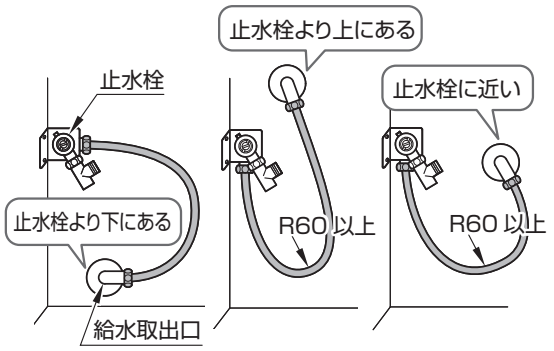
床給水

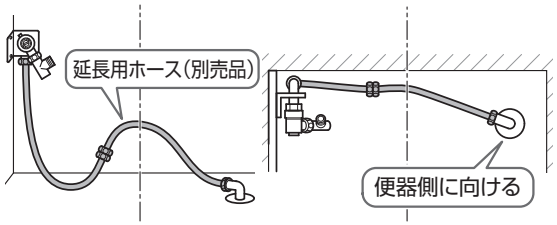
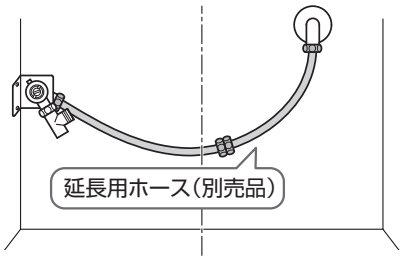


壁給水

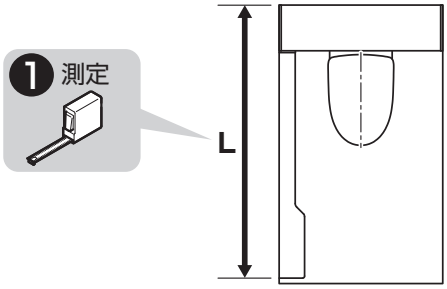


2 給水ホースの取り回し

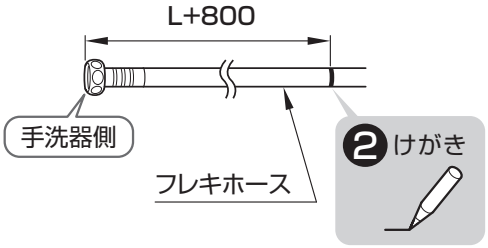
	給水位置が便器中心より左の場合
床給水	
壁給水	

	給水位置が便器中心より右の場合
床給水	
壁給水	

3 ホースクランプ固定位置のけがき

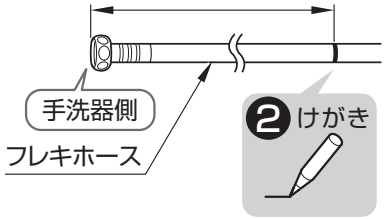


自動水栓の場合

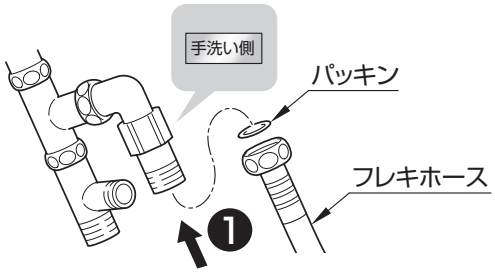


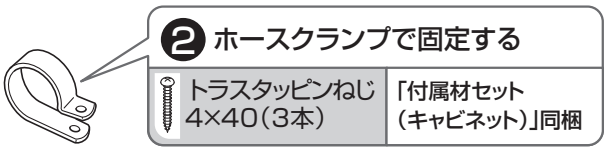
ハンドル式水栓の場合

L+690（ベッセルタイプ（丸形）/ベッセルタイプ（角形）・右勝手）
L+470（ベッセルタイプ（角形）・左勝手）
L-290（ハイバックタイプ）



4 フレキホースの取り付け





※フレキホースの取り回しは 5 参照

5 フレキホースの取り回し

⚠警告

禁止

ホースは電源プラグ・コンセントの上を通したり、電源プラグ・コンセントに接触させたりしない
結露水などにより、電源コンセントに水がかかり、火災や感電の原因となります。

注意事項・マーク説明

□：ホース固定位置
（3 ホースクランプ固定位置のけがき箇所を固定）

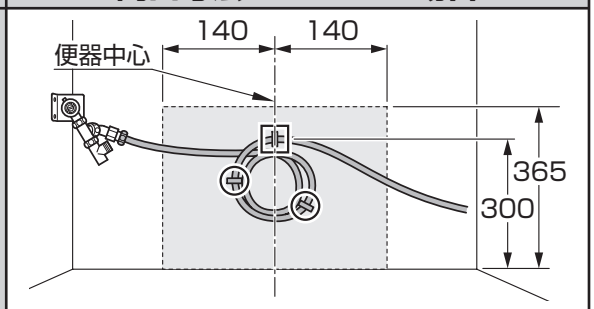
⬚：ホース取り回し範囲

◯：ホース固定位置
（任意の箇所を固定）

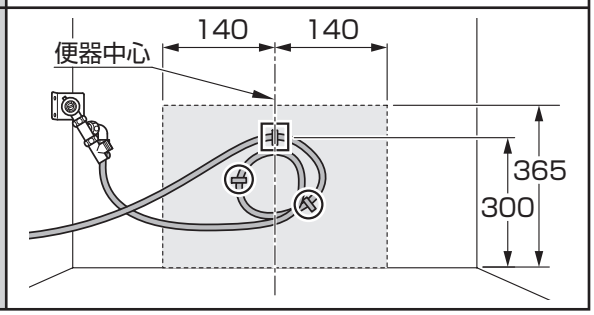
※下図は間口750mmの場合です。
間口寸法751mm以上の場合は、下図を参考に給水ホース取り回し範囲内でホースを取り回し、固定してください。

間口寸法750mmの場合

右勝手



左勝手



MEMO

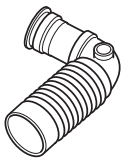
5. 大便器の仮設置・排水部材

使用部材

詰め合わせ箱

排水接続管セット

【左右抜き】
【後ろ抜き】



排水接続管
（1個）※

ホースクランプ
（2個）

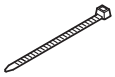
※図は左右抜き

付属材セット（キャビネット）

排水管固定材セット

取付材
（3個）※1

皿タッピンねじ
4×40（2本）

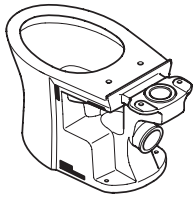


結束バンド
（2個）※2

※1　残り1個は15.給排水部材（手洗器）で使用
※2　残り1個は16.試運転・確認で使用

その他包装

大便器



便器本体
（1台）

固定片
（1個）

なべタッピンねじ
（固定片用）
6×50（2本）

座金
（固定片用）
（2枚）

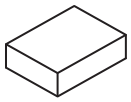
カウンター

排水管組品

手洗器用
排水ホース
（1本）

クイック
ファスナー
（1個）

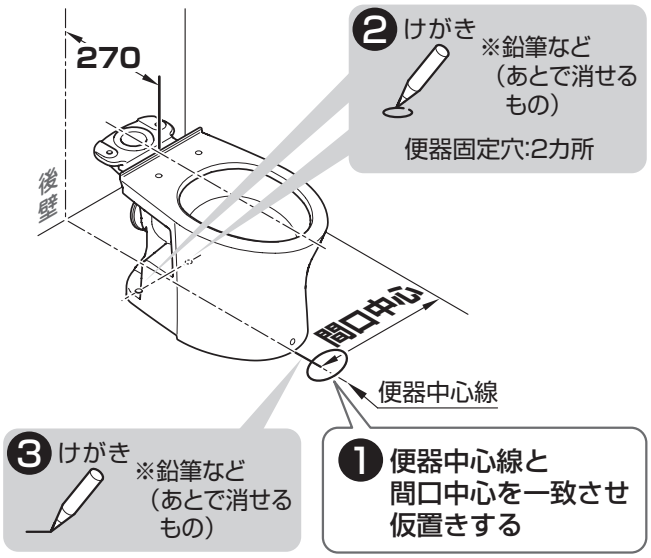
防振シート



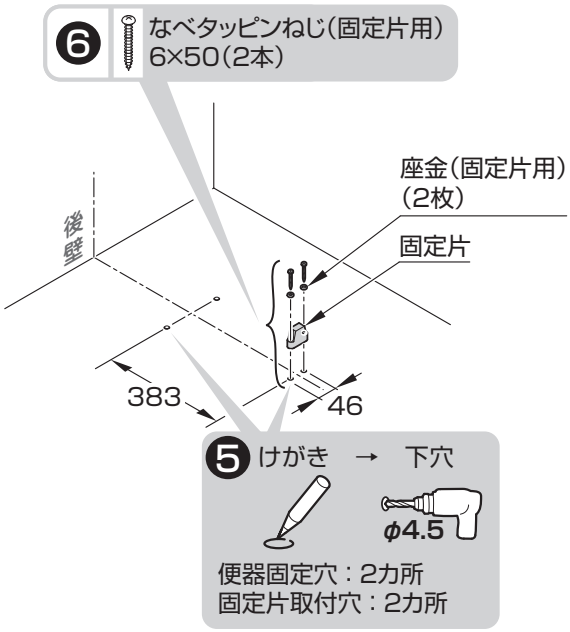
（1箱）

MEMO

1 大便器の仮設置



❹ 便器をいったん外す



防振シートの取り付け（防振シートありの場合）

参照 防振シートに同梱の施工説明書

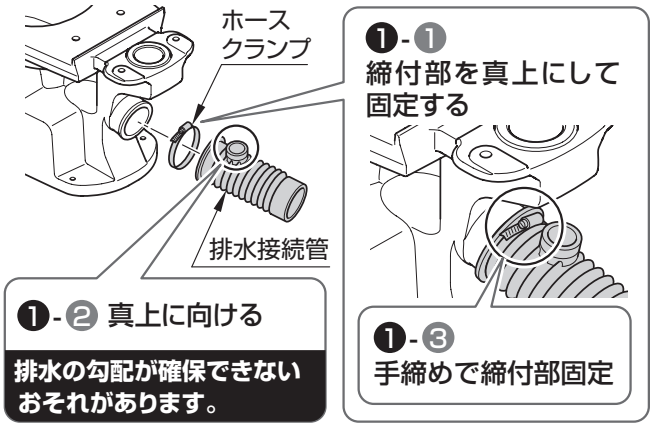
2 排水接続管の取り付け・接続

⚠注意

禁止

ホースクランプは、電動ドライバーで締め付けない
排水接続管にしわがよったり破れたりして、水漏れし、家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

後ろ抜き

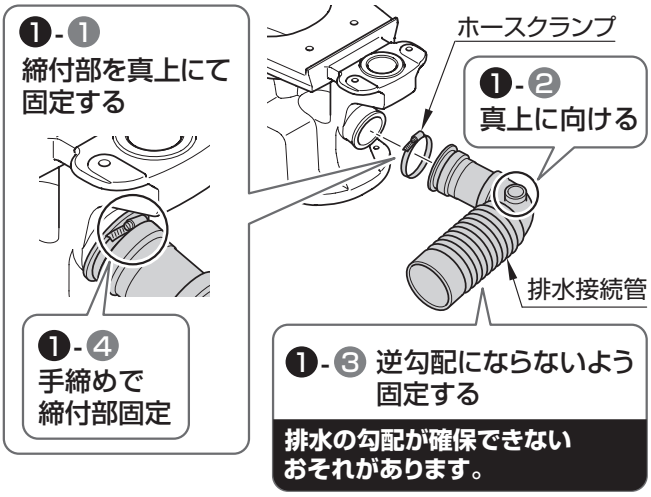


左右抜き

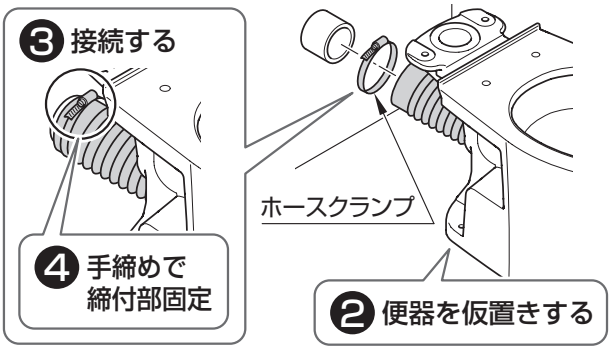
⚠注意

必ず守る

排水管の高さにあわせて適切な角度で排水接続管を接続する
排水の勾配が確保できないおそれがあります。



後ろ抜き・左右抜き 共通



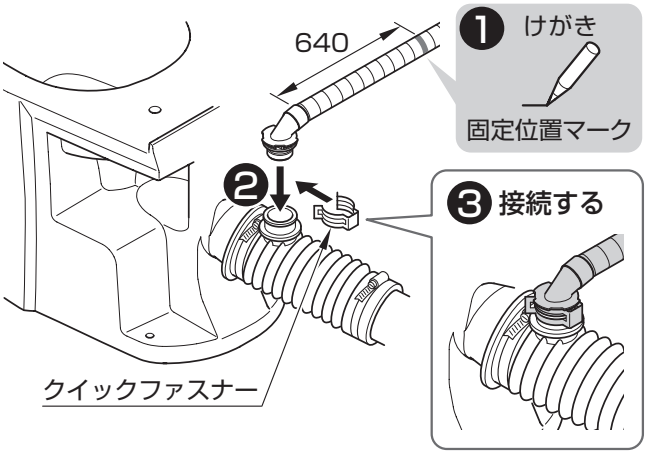
3 手洗器排水ホースの取り付け

⚠注意

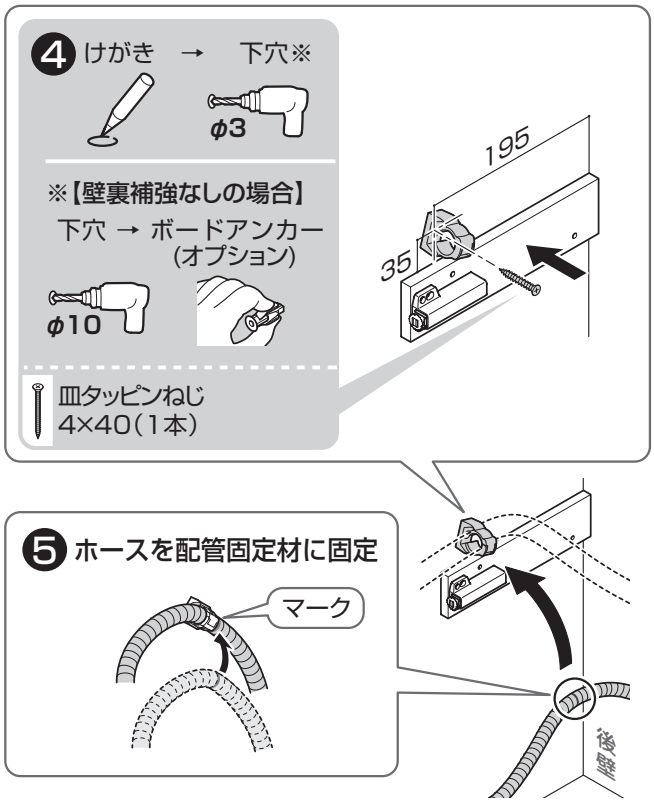
必ず守る

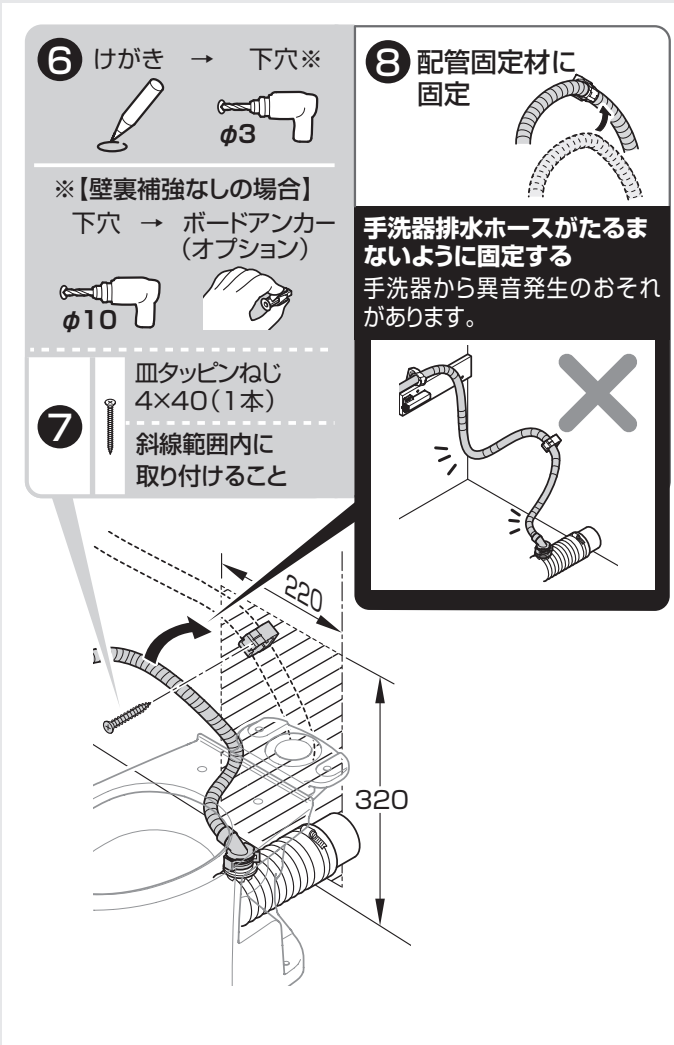
- クイックファスナーの全周にツバが掛かっていることを確認する
- クイックファスナーがスムーズに1回転することを確認する

水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

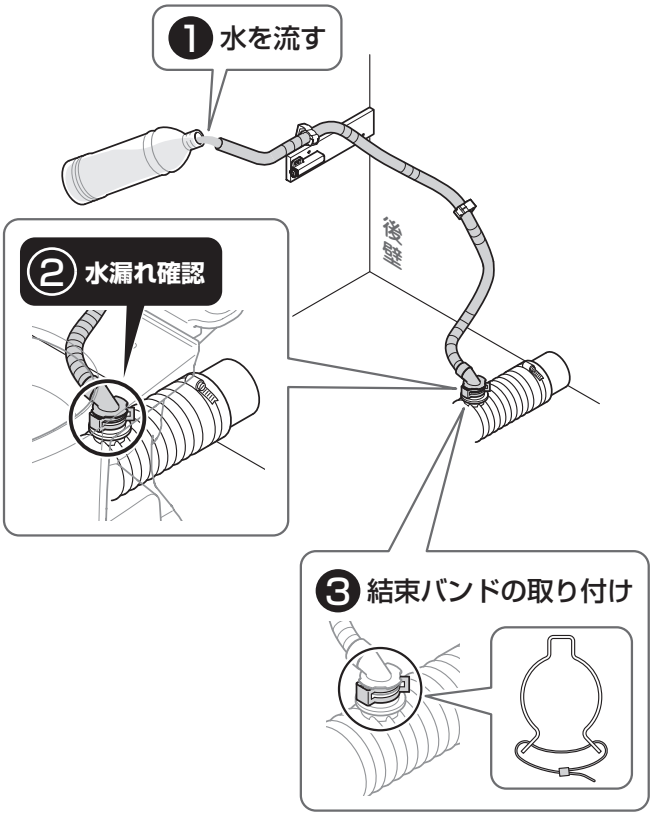


※図は手洗器が左勝手の場合です。
右勝手の場合は左右反転となります。





4 水漏れの確認



6. コアキャビネット

使用部材

詰め合わせ箱

付属材セット（キャビネット）

付属材セット

バインドタッピンねじ
4×8（2本）

ねじセット（キャビネット用）

ボードアンカー
（4本）

トラスタッピンねじ
4×40（6本）

コアキャビネット

コアキャビネット

コアキャビネット組品

（1台）

前板組品

（1枚）

側板組品（手洗器設置側）

側板組品
（1セット）

トラスタッピンねじ
4×40（2本）

側板組品（手洗器と反対側）

側板組品
（1枚）

トラスタッピンねじ
4×40（2本）

天板セット

取付材セット（横さん）

横さん
（1本）

皿タッピンねじ
4×50（3本）

その他包装

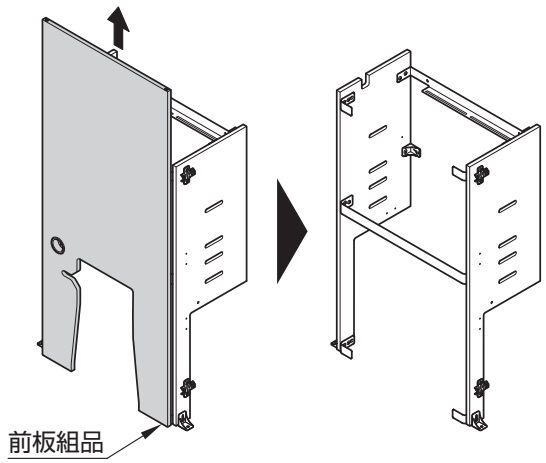
エンドパネル

ねじセット

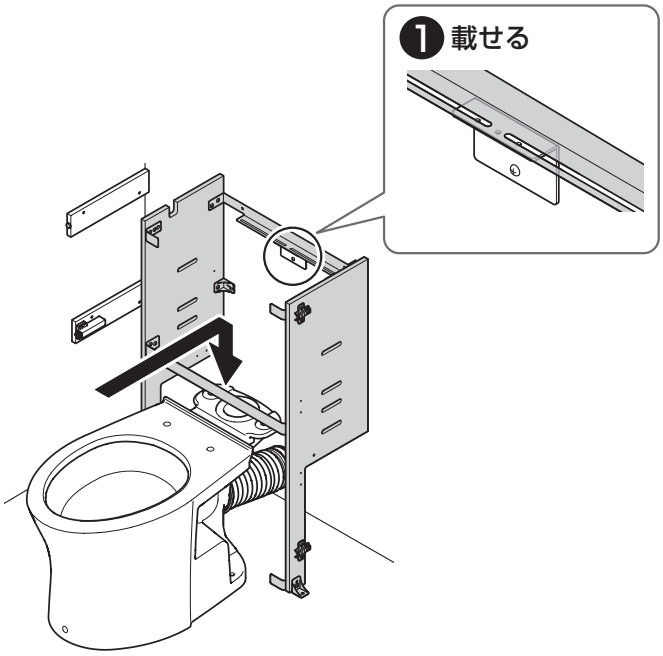
トラス小ねじ
4×18（2本）

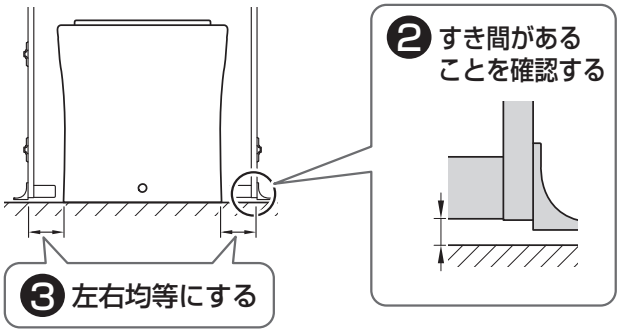
1 前板組品の取り外し

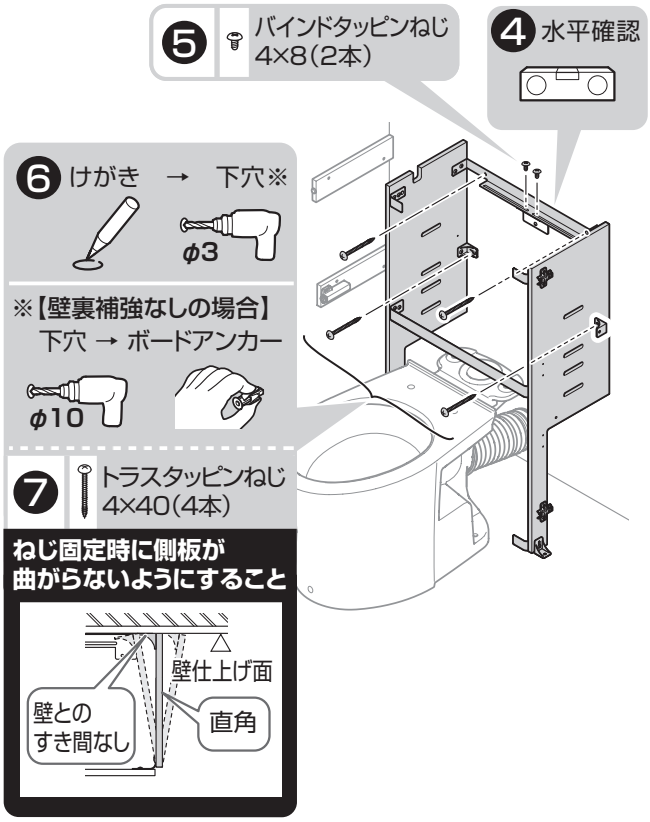
❶ 前板組品をコアキャビネット組品から取り外す

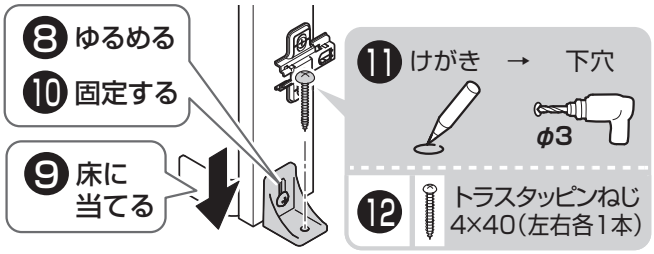


2 コアキャビネット組品の取り付け

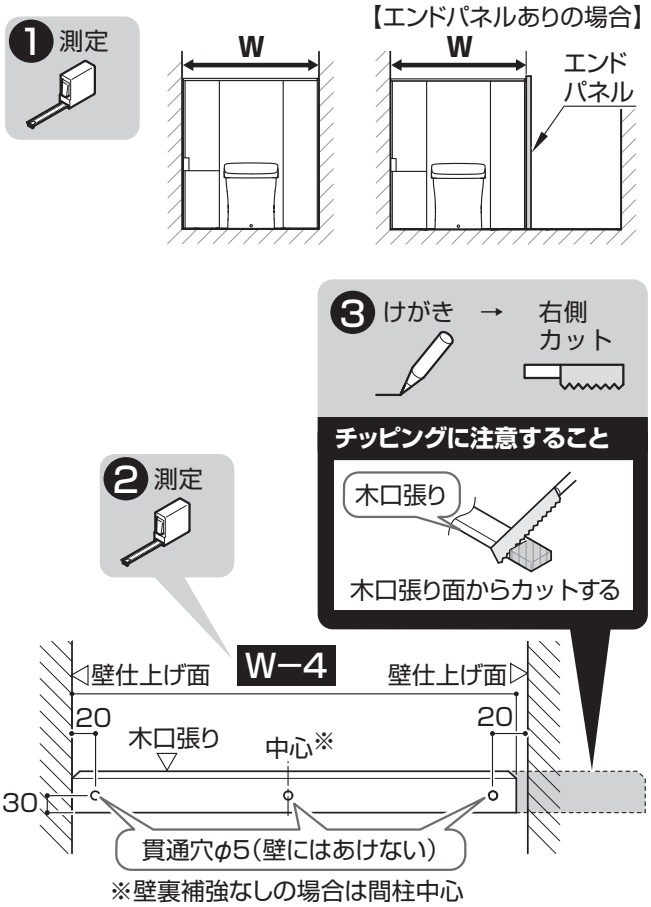






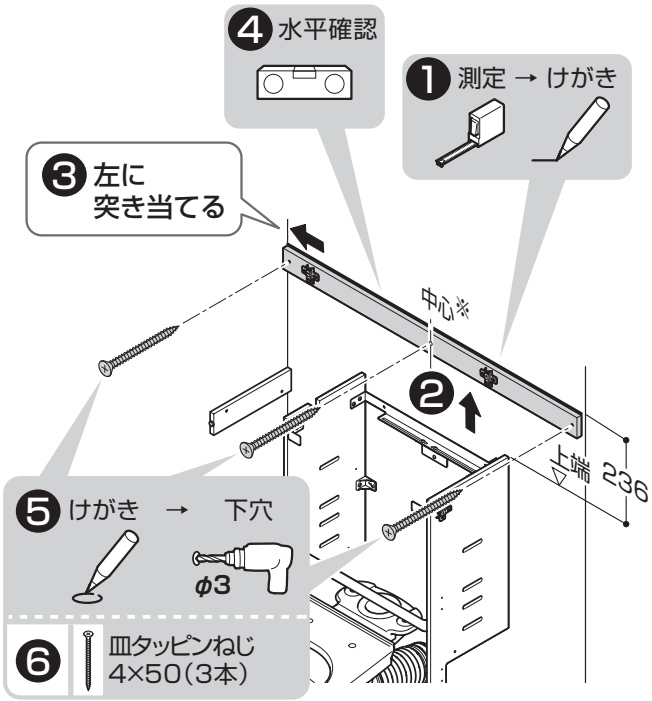


3 横さんのカット



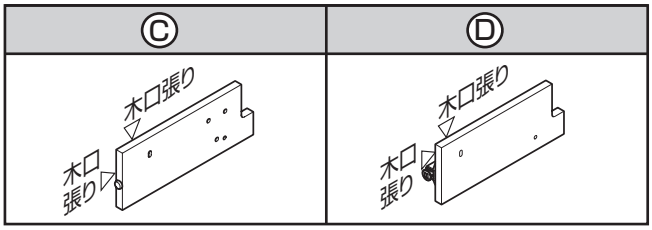
※壁裏補強なしの場合は間柱中心

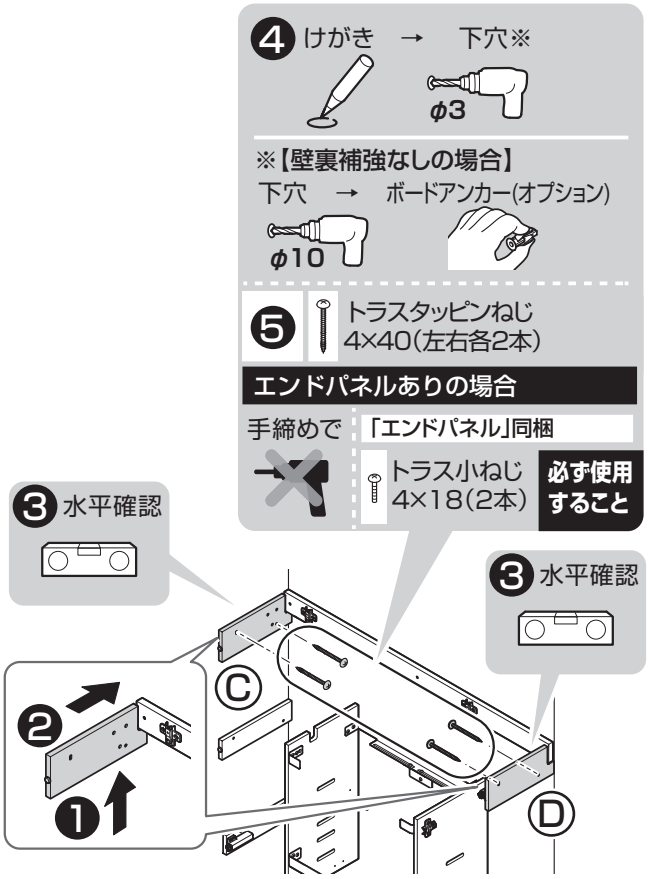
4 横さんの取り付け



※壁裏補強なしの場合は間柱中心

5 側板組品の取り付け





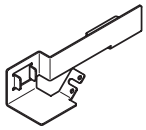
7. セットタンク

使用部材

詰め合わせ箱

付属材セット（キャビネット）

取付材セット



取付材
（洗浄レバー）
（1個）

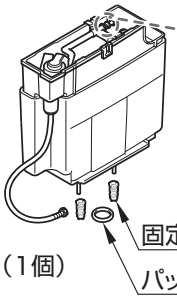
トラス
タッピンねじ
5×14（2本）

付属材セット

洗浄レバー
（1個）

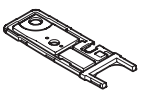
コアキャビネット

セットタンク



（1個）

ピン（1個）
※ピンはジョイント端に付いています。

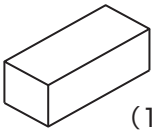


カバー（A）
（1個）

カバー（B）
（1個）

その他包装

便器洗浄ユニット



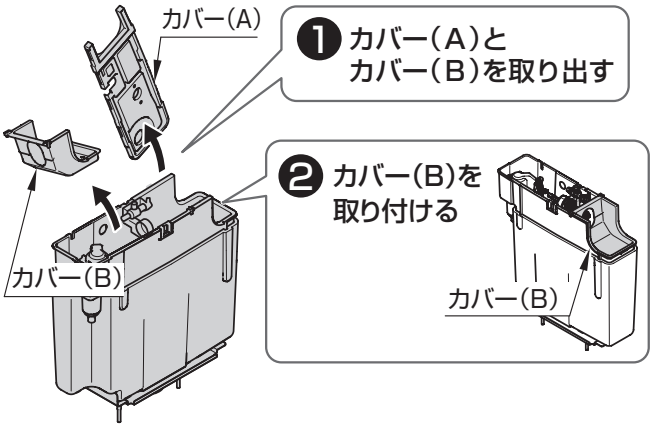
（1箱）

1 セットタンクの取り付け

⚠注意

必ず守る

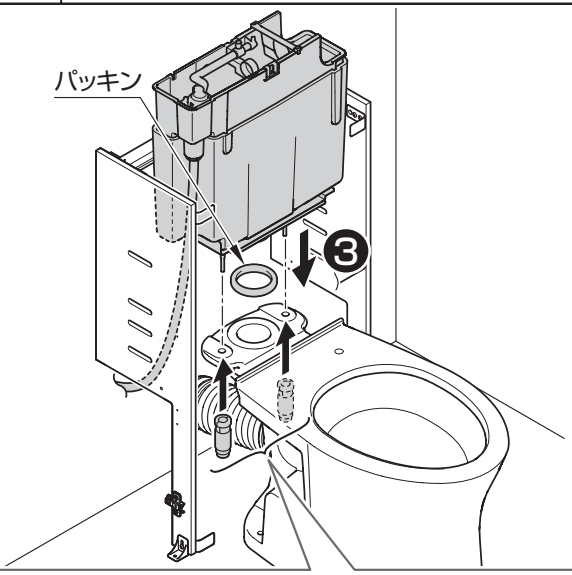
カバー（B）がしっかり閉まっていることを確認する
カバー（B）が閉まっていないと、セットタンク内の水が跳ねて家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。



⚠注意

必ず守る

セットタンクにパッキンがセットされていることを確認する
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。



⚠注意

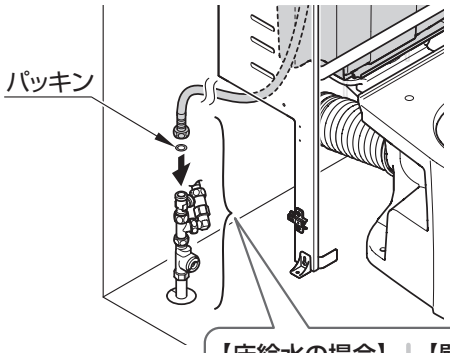
必ず守る

左右の固定ナットを確実に締める
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

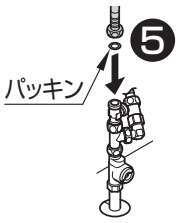
固定ナットを締め付けるときは必ず手で行う
工具を使用すると破損するおそれがあります。

❹ 手締めでかたく締め付ける

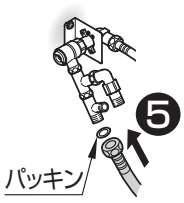
破損防止



【床給水の場合】



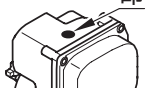
【壁給水の場合】



2 洗浄レバーの組み立て

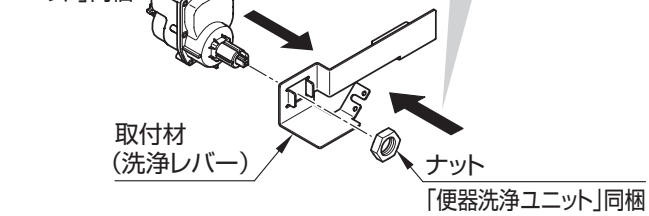
※便器洗浄ユニットに同梱の説明書とは、取付向きが異なります。

❶ 印を上に向けて取り付ける

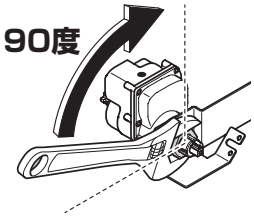


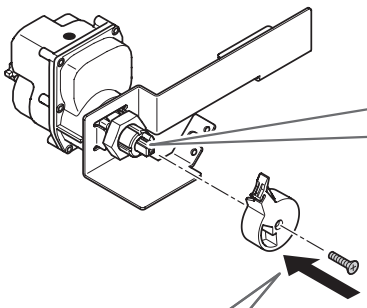
❷ しっかり締め付ける

ナットが取付材（洗浄レバー）のつめに当たるまで締める



❸ モンキーレンチでナットを90度増し締めする





❹ 軸の凸と洗浄レバーの凹をあわせる

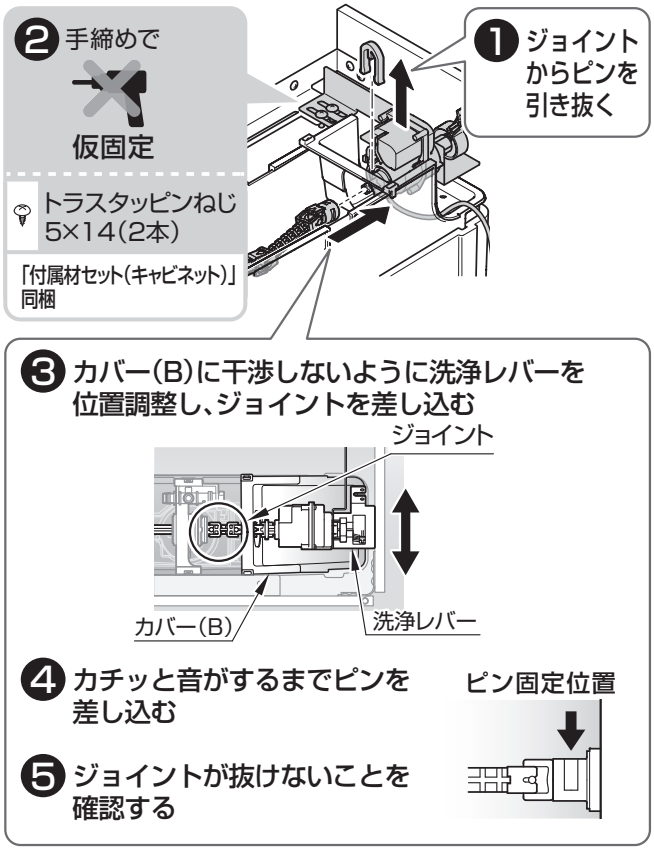
❺ しっかり締め付ける

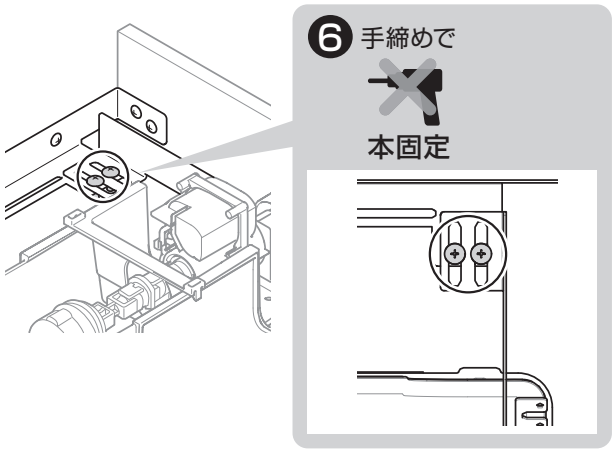
手締めで

「便器洗浄ユニット」同梱
皿ねじ 3×10（1本）

ガタツキ防止

3 洗浄レバーの取り付け

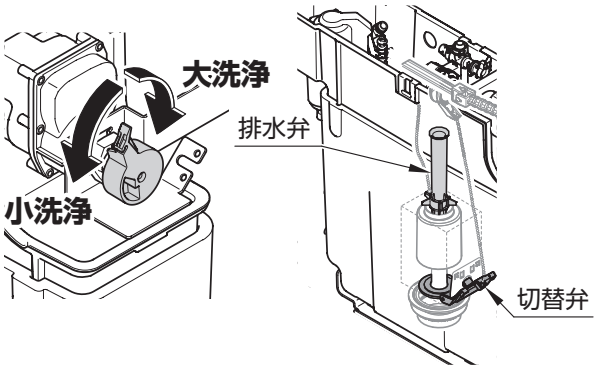




4 洗浄レバーの作動確認

❶ 作動確認

□洗浄レバーが「大」側、「小」側へ正常に作動すること
□「大」側に回し、排水弁のみが引き上がること
□「小」側に回し、排水弁・切替弁が引き上がること
□ 洗浄後、洗浄レバーが正規の位置に戻ること

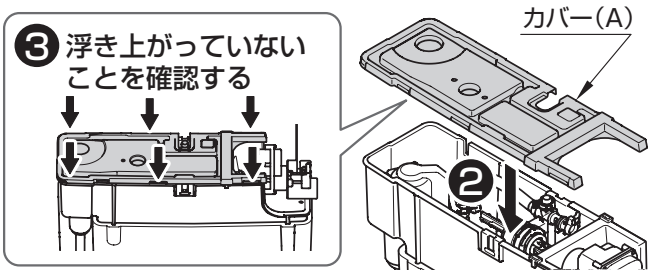


⚠注意

必ず守る

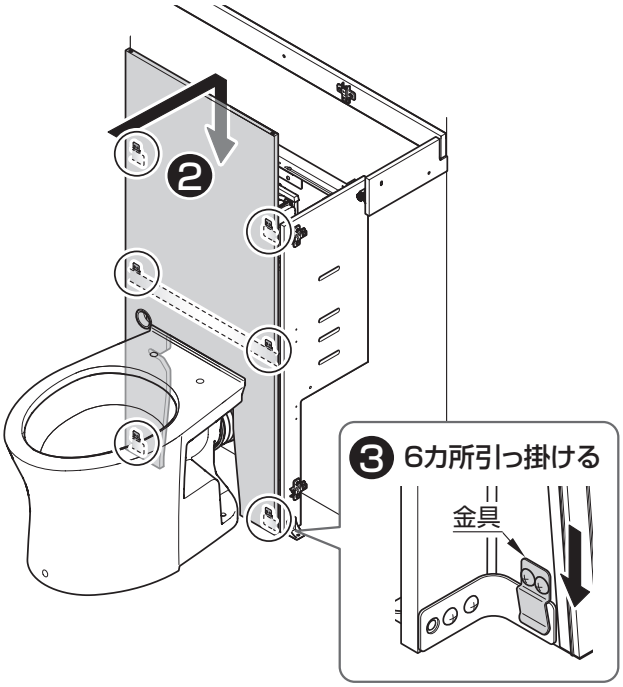
カバー（A）がしっかり閉まっていることを確認する

カバー（A）が閉まっていないと、セットタンク内の水が跳ねて家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。



5 前板組品の取り付け

❶ 便器を少し前に出す



MEMO

8. 大便器

使用部材

その他包装

大便器

皿木ねじ
5.8×56（1本）

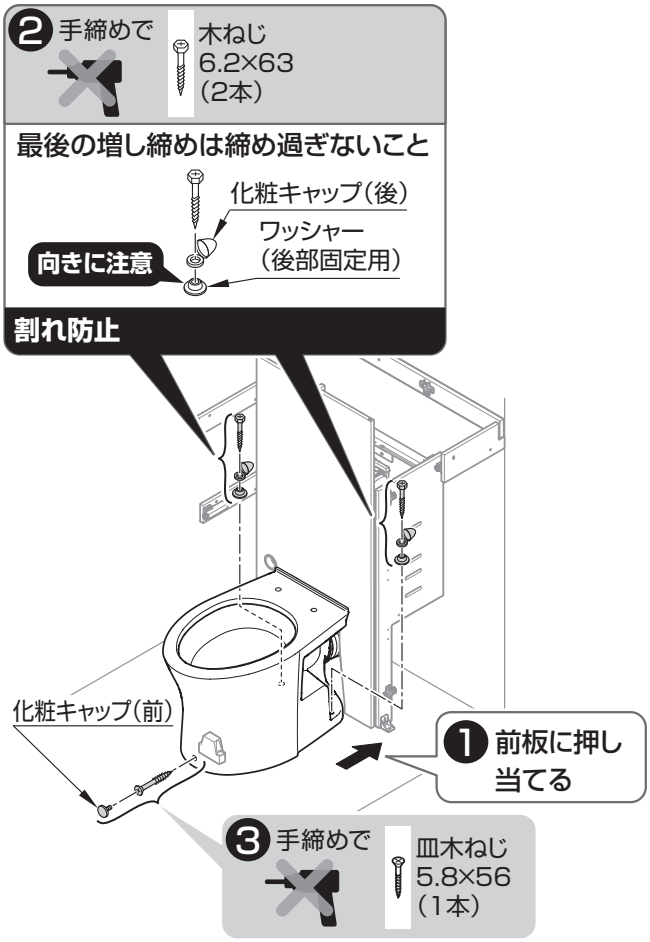
木ねじ
6.2×63（2本）

化粧キャップ（後）
（2個）

ワッシャー
（後部固定用）
（2枚）

化粧キャップ（前）
（1個）

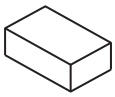
1 大便器の固定



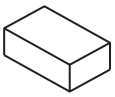
MEMO

9. ウォシュレット

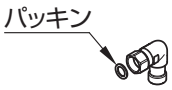
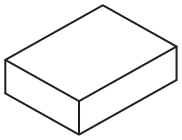
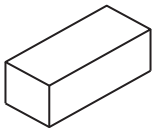
使用部材



詰め合わせ箱



その他包装

止水栓	大便器	ウォシュレット	便器洗浄ユニット
【既存給水流用】  給水アダプター（1個）	 サイドカバー（左）（1個） サイドカバー（右）（1個）	 （1箱）	 （1箱）

MEMO

1 ウォシュレットの設置

❶ 作業がしやすいように、ウォシュレットを手前に引き出し傷つかないように養生する

参照 ウォシュレットの施工説明書

2 給水ホース・電源コードの取り回し

❼ 引き出したウォシュレットを取り付ける

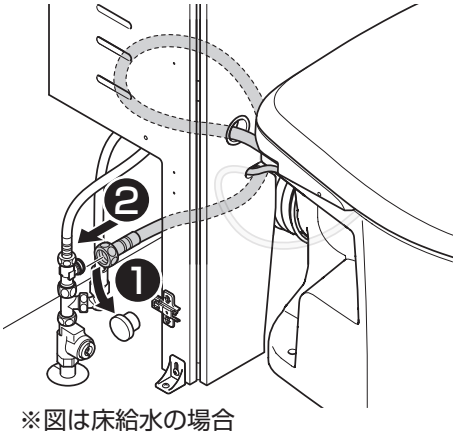
3 給水ホースの接続

⚠注意

禁止

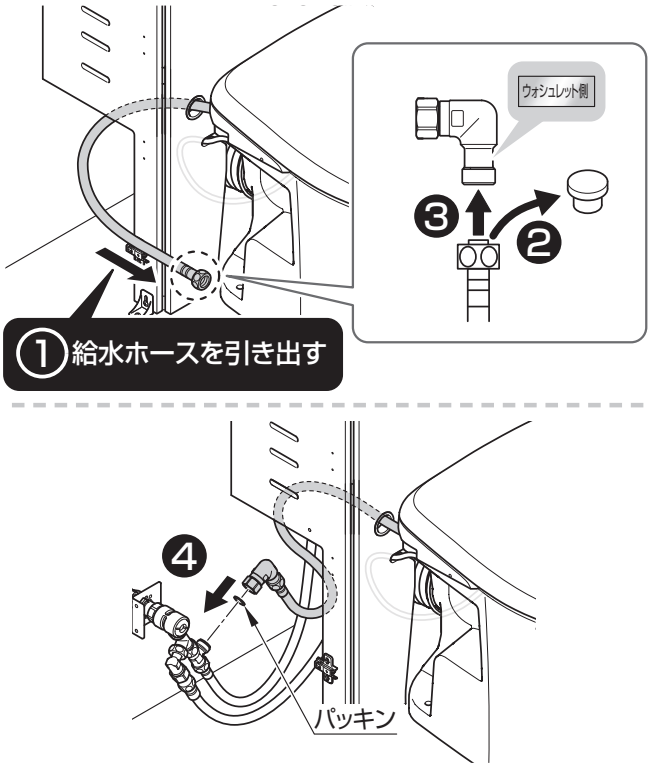
給水ホースを折り曲げたりしない
水漏れの原因となります。

給水新設の場合



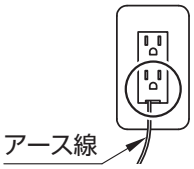
※図は床給水の場合

既存給水流用の場合



4 アース線の接続

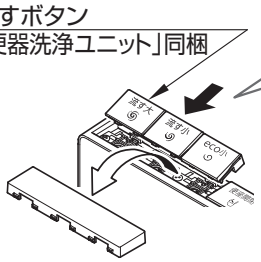
❶ アース線のみアースターミナルに取り付ける



5 リモコンの設定・作動確認

❶ 電源プラグの差し込み
※ノズルがいったん出て戻る初期動作を行うか確認すること

流すボタン
「便器洗浄ユニット」同梱



❷ 流すボタンの取り付け
参照 流すボタン取付説明書

リモコンには流すボタンが取り付いていません。必ず取り付けてください。

❸ ウォシュレット本体の電源プラグを差し込んだことを確認し、モード設定をする

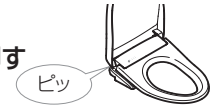
モード設定はウォシュレット本体を取り付け、電源を入れたあとに行ってください。
※ウォシュレット本体の電源が入ってないと設定を受け付けません。

❹ ビデ/ワイド と 水勢 − を同時に10秒以上押す

確認

リモコンランプが点灯・点滅します。

❺ おしり/ソフト → 水勢 − → 水勢 + の順に押す



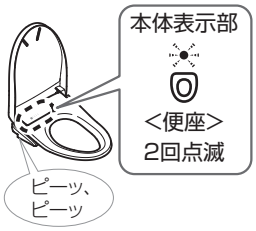
❻ ビデ/ワイド と 水勢 + を同時に10秒以上押す

確認

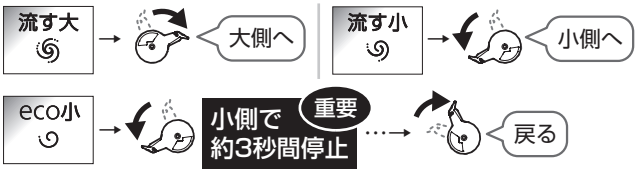
リモコンランプが点灯・点滅します。

❼ おしり/ソフト → 水勢 − → おしり/ソフト の順に押す

電子音が鳴ると同時に本体表示部（便座）ランプが2回点滅することを確認する
電子音とランプの点滅が下記でなかった場合は、設定が正しくできていません。
手順❸に戻り設定しなおしてください。



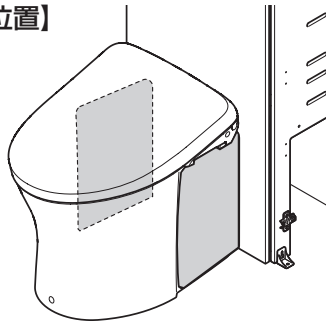
❽ 作動確認
※連続して流すボタンを押しても作動しません。約10秒たってから、もう一度ボタンを押してください。



※正しく作動しない場合は、再度手順❸から設定してください

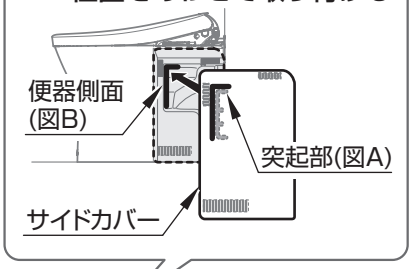
6 サイドカバーの取り付け

【カバーの位置】

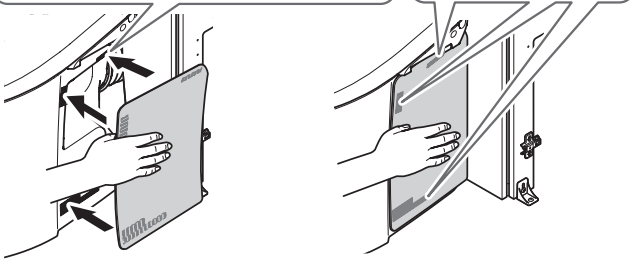


取り付けかた

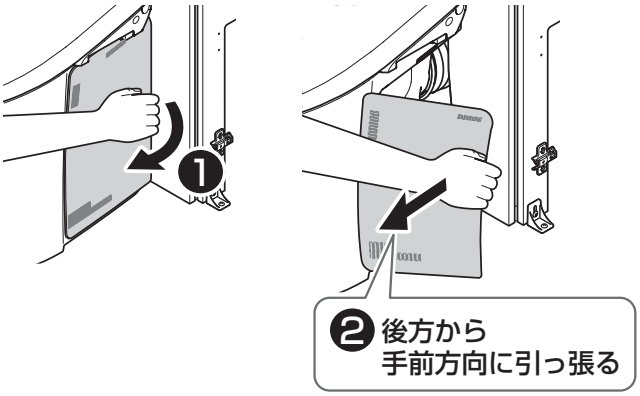
❶ サイドカバーの裏面突起部（図A）と便器側面（図B）の位置をあわせて取り付ける



❷ 面ファスナー部（3カ所）をしっかり押さえ外れないことを確認する

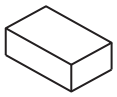


取り外しかた



10. 棚板

使用部材



コアキャビネット

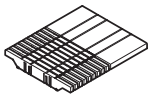
コアキャビネット

底板セット

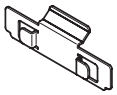
アングル材
（2個）

トラスタッピンねじ
4×40（2本）

棚板セット



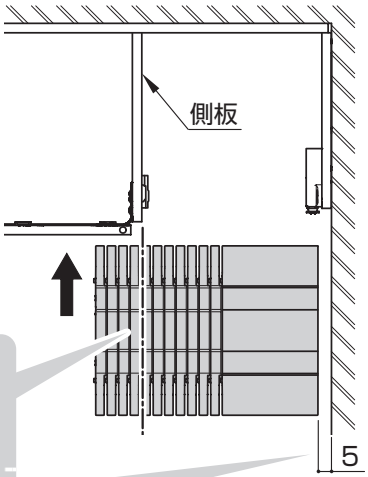
棚板
（2枚）



支持材
（2個）

1 棚板のカット

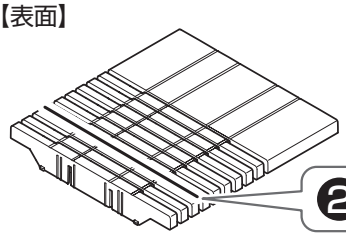
【上面図】



❶ けがき

壁から5mm程度すき間を空けて側板端から一番近い溝をけがく

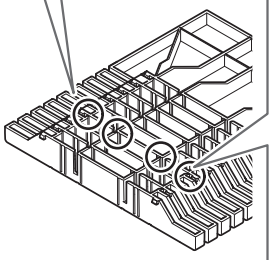
【表面】



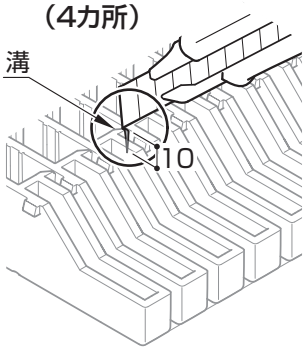
❷ カッターで2回程なぞる

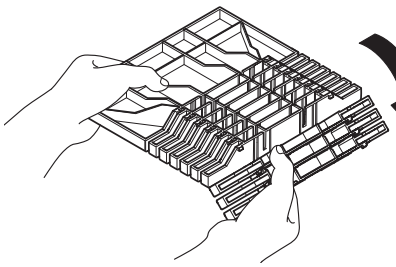
【裏面】

❸ けがいた位置を確認（4カ所）



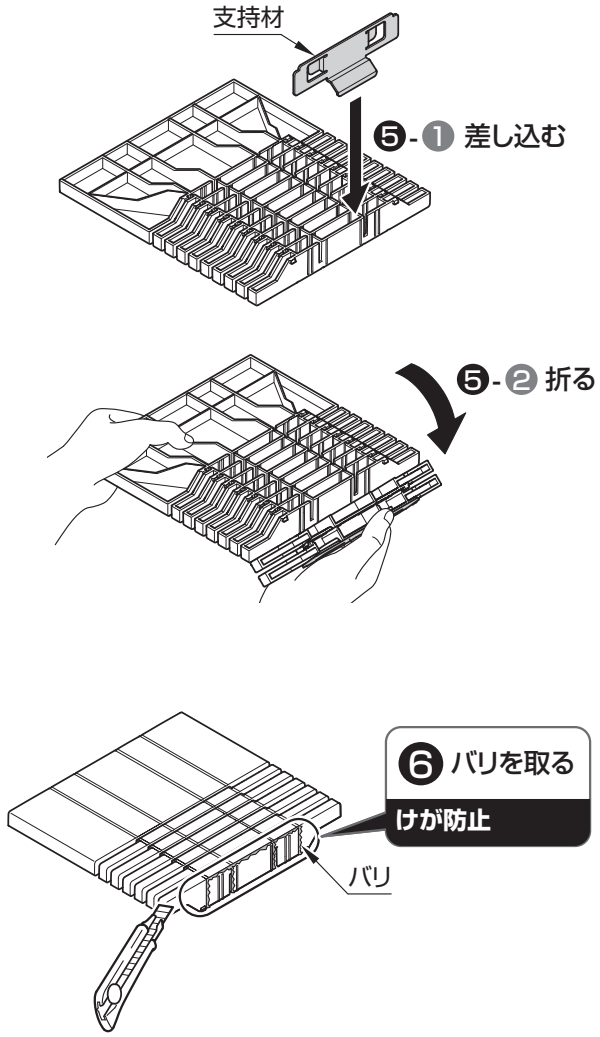
❹ リブの溝にあわせて切り込みを入れる（4カ所）



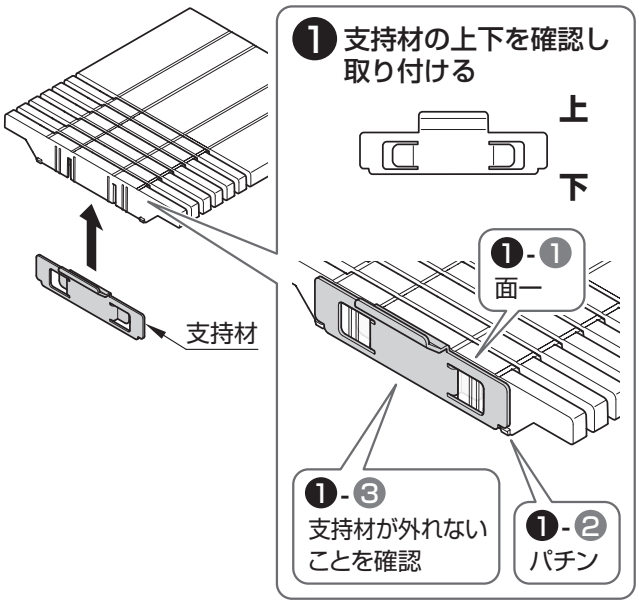


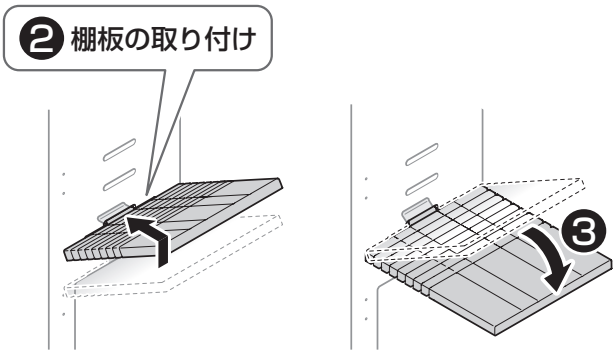
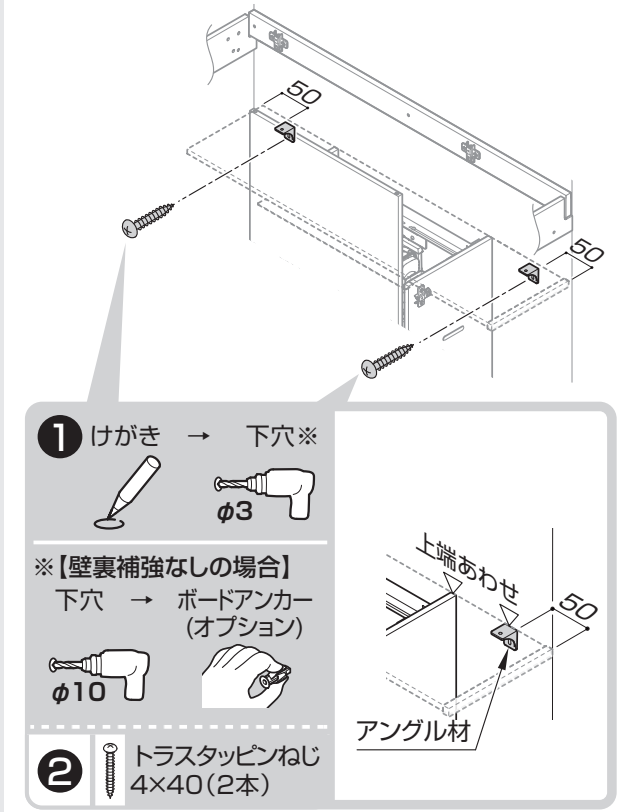
❺ 折る

【棚板のカット寸法が小さく折りづらい場合】



2 棚板の取り付け





3 アングル材の取り付け